

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

HXR-MC2000J

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

AVCHD

HDMI®
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

MEMORY STICK™

InfoLITHIUM™ SERIES

SD
CLASS 4

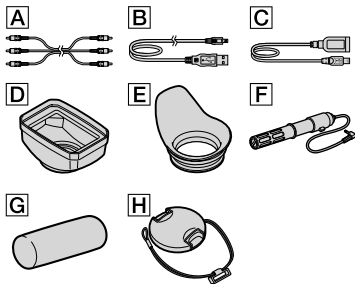
SD
XC
CLASS 4

使用前に必ずお読み ください

付属品を確かめましょう

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。()内は個数。

- ACアダプター(1)
- 電源コード(1)
- A/V接続ケーブル(1) **A**
- USBケーブル(1) **B**
- USBアダプターケーブル(1) **C**
- レンズフード(1) **D**
- アイカップ(1) **E**
- マイク(1) **F**
- ウィンドスクリーン(1) **G**
- レンズキャップ**H**
- リチャージャブルバッテリーパック NP-F570(1)
- CD-ROM「Video Camera Application Software」(1)
- 「PMB」(ソフトウェア、「PMBヘルプ」を含む)
- CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)
- 取扱説明書(2)
- 保証書(1)

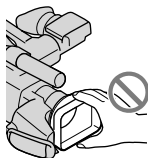


- 本機で使えるメモリーカードについては、20ページをご覧ください。

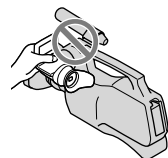
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。
また、端子カバーをつかんで持たないでください。

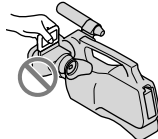
レンズフード



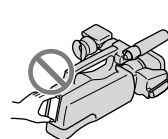
パネルEVFブロック



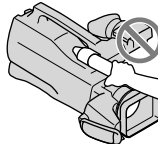
液晶パネル



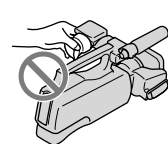
バッテリー



マイク



ファインダー

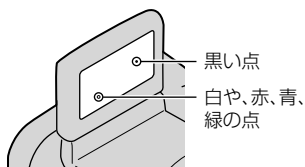


- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(110ページ)。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません(同時に選ばれません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これ

は故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします(88ページ)。初期化すると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前のためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや内蔵メモリーなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます(30ページ)。

再生に際してのご注意



- 本機は、ハイビジョン画質(HD)の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質(HD)で記録した映像は、次の機器では再生できません。
 - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
 - AVCHD規格に非対応の機器
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質(STD)の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします。ビデオ、DVD/HDDレコーダーなどで画像データを保存することもできます(66ページ)。

- **MENU** (メニュー) → [Show others] →  [SHOOTING SET] の  [REC MODE] を [HD FX] にして撮影した動画からAVCHDディスクを作成することはできません。ブルーレイディスク、または外付けメディアに保存してください(62, 64, 69ページ)。

バッテリー・電源アダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(98ページ)。

パソコンやアクセサリなどとの接続について

- パソコンから本機の内蔵メモリーをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返している、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT] (88ページ)を行ってください。

別売りのアクセサリについて



- ソニー純正アクセサリの使用をおすすめします。

- 国や地域によっては発売されていないものがあります。

本書の表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本書では、内蔵メモリー、メモリーカードを「記録メディア」といいます。
- 本書では、ハイビジョン画質(HD)で保存したDVDディスクを「AVCHDディスク」と表現しています。
- 本機やアクセサリの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取扱い上のご注意

- 本機で次のことをすると、記録メディアが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
 - アクセスランプ(21ページ)が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
 - 本機の  (動画) ランプ/ (静止画) ランプ(22ページ)や、アクセスランプ(21ページ)が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える
- ショルダーベルト(別売)を使用中は、本機を物にぶつけないように特にご注意ください。

目次

使用前に必ずお読みください	2
取扱い上のご注意	4

■ 準備する

準備1：付属のマイクとアイカップ、レンズフードを取り付ける	9
マイクを取り付ける	9
アイカップを取り付ける	10
レンズフードを取り付ける	10
準備2：バッテリーを充電する	12
準備3：電源を入れて日時を合わせる	15
準備4：撮影前の調節をする	17
液晶画面を見やすく調節する	17
ファインダーを見やすく調節する	17
ショルダーパッドを調節する	18
準備5：メディアを準備する	19
動画の記録メディアを変える	19
静止画の記録メディアを変える	19
メモリーカードを入れる	20

■ 撮る／見る

撮る	22
動画を撮る	23
静止画を撮る	25
撮るときに便利な機能	26
ズームする	26
カメラまかせでかんたんキレイに撮影する(おまかせオート)	26
ハイビジョン画質(HD)／標準画質(STD)を設定する	27
録画モードを選ぶ	28
優先する被写体を決めて撮影する	29
笑顔を自動で撮影する(スマイルシャッター)	29
動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)	30
カメラコントロールリング(RING)でマニュアル調節する	30
本機で見る	32

見るときに便利な機能	35
撮影日から画像を探す(日付インデックス)	35
ピンポイントで見たい場面を探す(フィルムロールインデックス)	35
顔画像から見たい場面を探す(フェイスインデックス)	36
ハイライトを再生する(ハイライト再生)	36
静止画を再生ズームする	38
静止画を連続再生する(スライドショー)	38
テレビにつないで見る	39
ハイビジョンテレビの接続方法	39
ハイビジョン非対応のワイドテレビ/4:3テレビの接続方法	41

■ 使いこなす

動画・静止画を削除する	44
記録した画像を保護する(プロテクト)	45
動画を分割する	46
動画から静止画を作る	47
内蔵メモリーからメモリーカードに動画・静止画をダビング・コピーする	48
動画をダビングする	48
静止画をコピーする	49
動画のプレイリストを使う	50
プレイリストを作る	50
プレイリストを再生する	51










■ パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)	53
準備1 パソコン環境を確かめる	53
準備2 付属ソフトウェア「PMB」をインストールする	54
「PMB(Picture Motion Browser)」を起動する	56
「PMBヘルプ」を見る	56
ディスクの作りかたを選ぶ(パソコン)	57
ワンタッチでディスクを作る(ワンタッチディスク)	59
パソコンに保存する	60
AVCHDディスクを作る	61
標準画質(STD)のディスクを作る	63


■ 他機を使って保存する

外付けメディアに保存する(ダイレクトコピー)	64
DVDライター、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどを使ってディスクを作る	66
ディスクの作りかたを選ぶ	66
専用DVDライター DVDDirect Expressでディスクを作る	67
DVDDirect Express以外のDVDライターやソニー製ブルーレイディスクレコーダーで ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る	69
レコーダーなどで標準画質(STD)のディスクを作る	70

■ 本機の設定を変える

メニューを使いこなそう	72
メニューの操作方法	72
MY MENUに登録して使う	73
 オプションメニューを使う	74
メニュー一覧	75
 MANUAL SETTINGS(場面や状況などに合わせる設定)	77
 SHOOTING SET(好みの撮影をするときの設定)	81
 PHOTO SETTINGS(静止画撮影に関する設定)	84
 PLAYBACK(再生に関する設定)	85
 EDIT(編集に関する設定)	87
 OTHERS(いろいろな設定)	87
 MANAGE MEDIA(メディアに関する設定)	88
 GENERAL SET(その他の設定)	89

■ その他

 故障かな?と思ったら	92
自己診断・警告表示	98
記録時間・枚数について	103
バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安	103
動画の撮影可能時間の目安	103
静止画の撮影可能枚数の目安	104
海外で使う	106

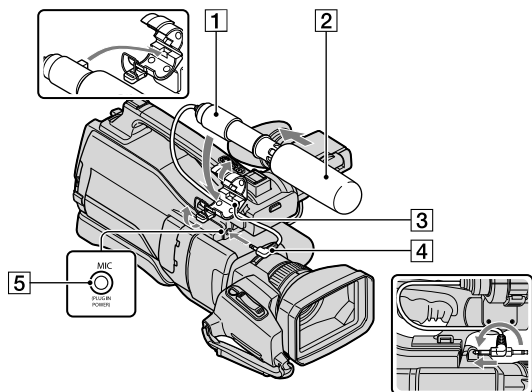
使用上のご注意とお手入れ	108
AVCHD規格について	108
メモリーカードについて	108
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	109
x.v.Color(エックスブイ・カラー)について	110
本機の取り扱いについて	110
主な仕様	113
保証書とアフターサービス	116

■ 各部のなまえ・索引

画面表示	117
各部のなまえ	119
索引	122

準備1：付属のマイクとアイカップ、レンズフードを取り付ける

マイクを取り付ける



1 付属のマイク [1] にウインドスクリーン [2] をかぶせる。

2 マイクホルダー [3] のロックを外し、カバーを開ける。

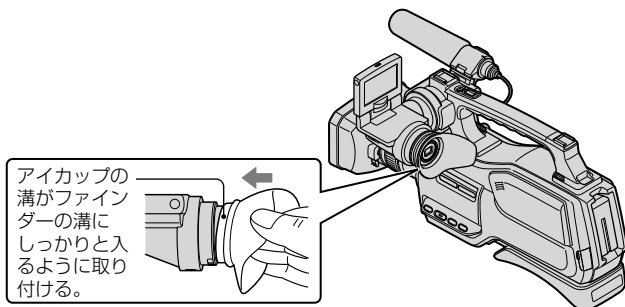
3 マイクの凸部がマイクホルダーの凹部に合うようにマイクをマイクホルダーに入れ、カバーを閉じてマイクホルダーをロックする。

マイクの▲マークとマイクホルダーのIマークが向かい合っていることを確認する。

4 マイクケーブルを矢印の方向に180°回して ([4])、マイク端子 [5] につなぐ。

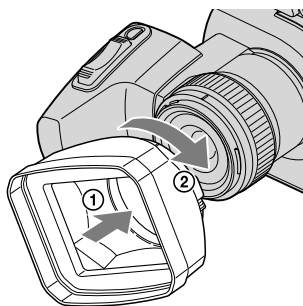
アイカップを取り付ける

ファインダーの溝に合わせてアイカップを取り付ける。アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。



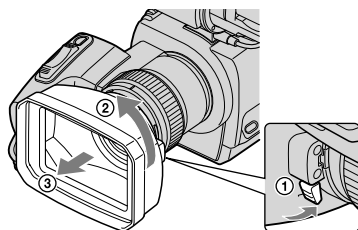
レンズフードを取り付ける

本機とレンズフードの印を合わせて、矢印の方向に回す。



レンズフードを取り外すには

レンズフード取り外しレバーを押しながら、レンズフードを矢印の方向に回す。

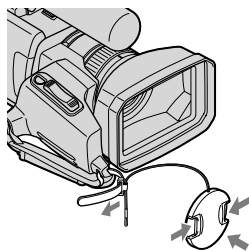


🗨️ ちょっと一言

- 直径37ミリの偏光フィルターや保護フィルターの取り付け、取り外し、調整をするときは、レンズフードを取り外してください。

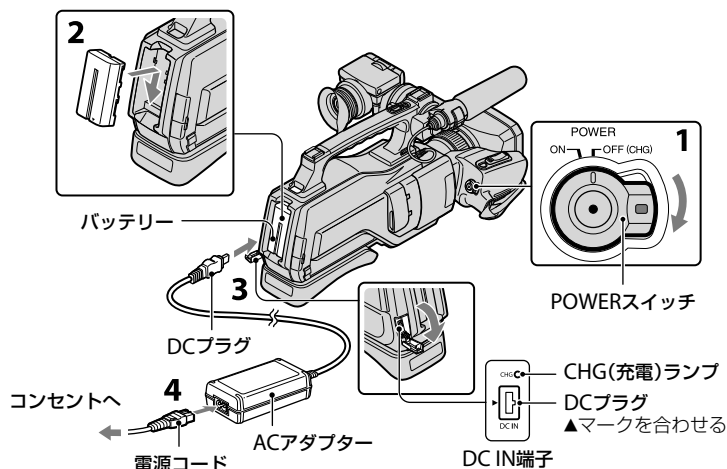
レンズキャップを取り付ける

レンズキャップの両端のノブを押しながら取り付ける。



レンズキャップについている紐は、グリップベルトのマジックテープを剥し、取り付けてください。

準備2：バッテリーを充電する



専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)を本機に取り付けて充電します。

⚠️ ご注意

- ・“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)以外は使えません。

- 1 POWERスイッチを「OFF(CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。
- 2 バッテリーを取り付ける。
バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして、取り付ける。
- 3 DCプラグの▲マークを本体の▲マーク側にして、ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。
- 4 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。
CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。
充電が完了するとCHG(充電)ランプが消えます(満充電)。
- 5 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

🗣️ ちょっと一言

- 撮影・再生可能時間は、103ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面左上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。999分以上、バッテリーの残量がある場合は、[999min]と表示されます。

充電時間(満充電)

使い切った状態からのおよその時間(分)

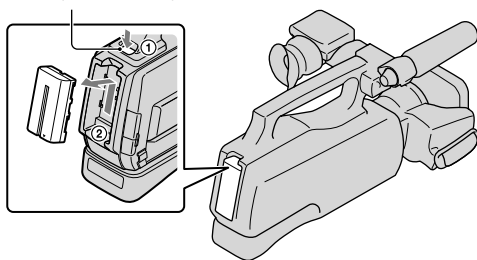
バッテリー型名	満充電時間
NP-F570(付属)	265
NP-F770	475
NP-F970	645

- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。BATT(バッテリー)RELEASEボタンを押して(①)、バッテリーを取り外す(②)。

BATT(バッテリー)RELEASEボタン



コンセントの電源で使うには

「準備2：バッテリーを充電する」のつなぎかたのまま操作する。

バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。



海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

🚫 ご注意

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にしてから、 (動画)ランプ/ (静止画)ランプ (22ページ)、アクセスランプ (21ページ) が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中のCHG (充電) ランプが点滅することがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

ACアダプターについて

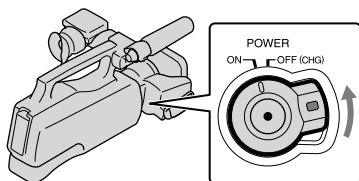
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

電源コードについて

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

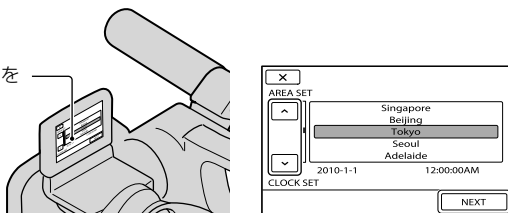
準備3：電源を入れて日時を合わせる

- 1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。



- 2 ▲/▼ でエリアを選び、[NEXT]をタッチする。

画面のボタンを
タッチする

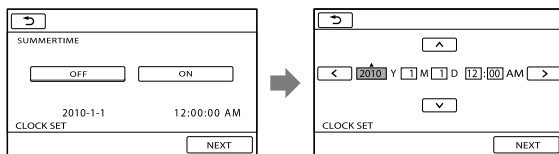


- 再度、時計合わせをするには、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [GENERAL SET] の [CLOCK/ LANG] → [CLOCK SET] の順にタッチします。画面にないときは、▲/▼ をタッチして項目を表示させます。



- 3 サマータイムを設定し、日時を設定して、**OK** をタッチする。

時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME] を [ON] にすると、時計が1時間進みます。



ご注意

- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、**MENU** (メニュー) → [Show others] →  [PLAYBACK]の [PLAYBACK SET] → [DATA CODE] → [DATE/TIME] → **OK** →  → **X** をタッチします。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調整 (CALIBRATION) をしてください (111ページ)。

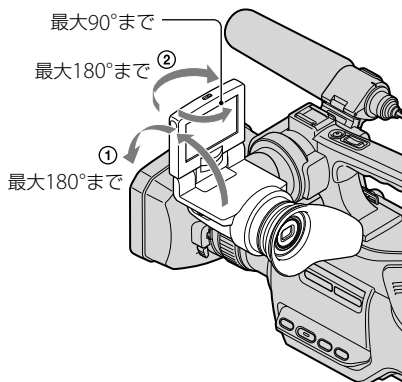
電源を切るには

POWERスイッチを「OFF (CHG)」にする。

準備4：撮影前の調節をする

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を開き(①)、見やすい角度に調節する(②)。

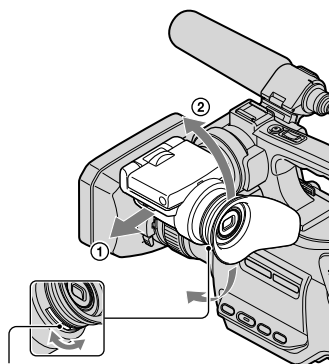


🗨️ ちょっと一言

- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- MENU** (MENU) → [Show others] → [GENERAL SET]の[SOUND/DISP SET]で「LCD BRIGHT」「LCD BL LEVEL」「LCD COLOR」を調節することができます(89ページ)。

ファインダーを見やすく調節する

パネルEVFブロックを引き出して位置を調節し(①)、ファインダーを見やすい角度に調節する(②)。



視度調整つまみ

画像がはっきり見えるように動かす

⚡ ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

💡 ちょっと一言

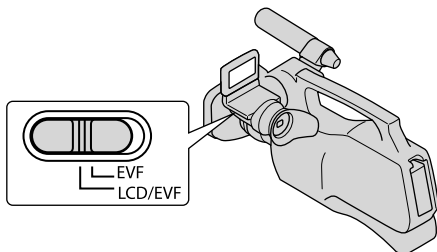
- バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、ファインダーで画像を見ることもできます。

LCD/EVF-EVF切り換えスイッチについて

お買い上げ時の切り換えスイッチの状態は、LCD/EVFになっています。

LCD/EVFの場合は、液晶画面で撮影でき、液晶画面を閉じるとファインダーで撮影できます。

EVFに切り換えると、ファインダーのみで撮影できます。

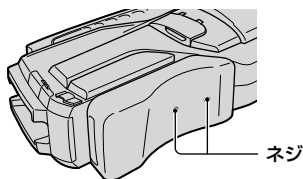


⚡ ご注意

- LCD/EVF-EVF切り換えスイッチを「EVF」にすると、タッチパネルの操作が行えません。
- LCDとEVFは同時には使用できません。

ショルダーパッドを調節する

ショルダーパッドのネジをゆるめると、位置を調節できます。調節が終わったら、ネジを締めてください。



準備5：メディアを準備する

本機で使用できる記録メディアは、本機の画面では次のようなアイコンで表示されます。



内蔵メモリー



メモリーカード

* お買い上げ時の設定ではこの内蔵メモリーに動画・静止画が記録されます。設定したメディアで画像を記録、再生、編集できます。

💡 ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は103ページをご覧ください。
- 静止画の撮影可能枚数は、104ページをご覧ください。

動画の記録メディアを変える

- 1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → [MANAGE MEDIA] の [MEDIA SETTINGS] → [MOVIE MEDIA SET] をタッチする。
[MOVIE MEDIA SET] 画面が表示されます。

- 2 希望の記録メディアをタッチする。

- 3 [YES] → **OK** をタッチする。

記録メディアが切り替わります。

静止画の記録メディアを変える

- 1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → [MANAGE MEDIA] の [MEDIA SETTINGS] → [PHOTO MEDIA SET] をタッチする。
[PHOTO MEDIA SET] 画面が表示されます。

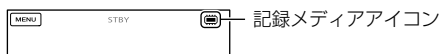
- 2 希望の記録メディアをタッチする。

- 3 [YES] → **OK** をタッチする。

記録メディアが切り替わります。

記録メディアを確かめるには

動画または静止画の撮影モードで、画面右上に設定されている記録メディアが表示されます。



メモリーカードを入れる

⚠️ ご注意

- メモリーカードに動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを[MEMORY CARD]に設定してください。

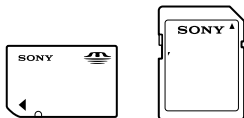
本機で使えるメモリーカード

- 本機で使えるメモリーカードは、「メモリスティック PRO デュオ」(Mark2)、「メモリスティック PRO-HG デュオ」、およびスピードClass 4以上のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本書では、「メモリスティック PRO デュオ」(Mark2)、「メモリスティック PRO-HG デュオ」を「メモリスティック PRO デュオ」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。
- 本機で動作確認されている「メモリスティック PRO デュオ」は32GB、SDカードは64GBまでです。

⚠️ ご注意

- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめ確認ください。対応していない機器に接続した場合、初期化画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。
* exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

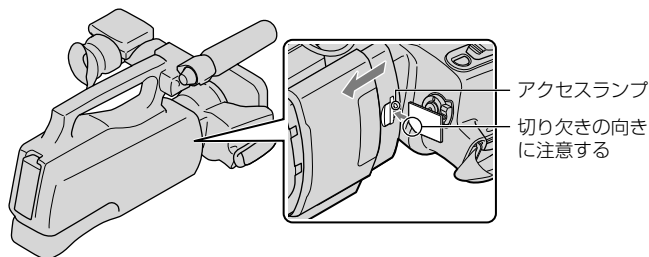
本機で使えるメモリーカードのサイズ



- 標準の「メモリスティック」の約半分の大きさの「メモリスティック デュオ」、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。

スライドカバーを開き、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。

- 入れた後はスライドカバーを開じてください。



新しいメモリーカードを入れたときは、[Create a new Image Database File.]画面が表示されることがあります。その場合は、[YES]をタッチしてください。メモリーカードに静止画のみを記録する場合は、[NO]をタッチします。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

⚠️ ご注意

- [Failed to create a new Image Database File. It may be possible that there is not enough free space.]と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(88ページ)。

メモリーカードを取り出すには

スライドカバーを開き、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

- 撮影中にスライドカバーを開けないでください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

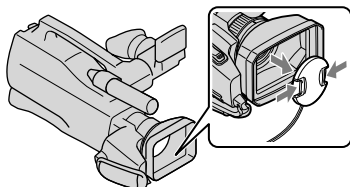
撮る

お買い上げ時の設定では、動画と静止画は内蔵メモリーに記録されます。動画は、ハイビジョン画質(HD)で記録されます。

🗣️ ちょっと一言

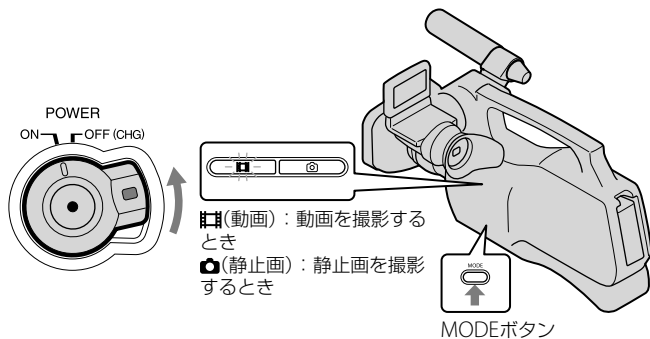
- 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。
- 標準画質(STD)で撮影する場合は27ページをご覧ください。

1 両端のノブを押しながらレンズキャップを取り外す。



2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。

- MODEボタンを押すことで撮影モードを切り換えられます。撮影したいモードのランプを点灯させてください。

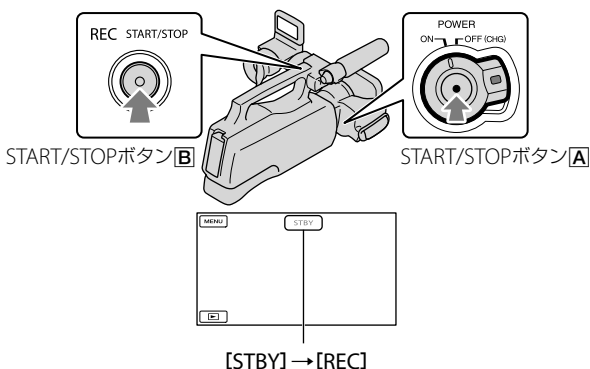


動画を撮る

1 MODEボタンを押して、**REC**(動画)ランプを点灯させる。

動画撮影モードに切り替わり、画像の横縦比が16:9になります。

2 START/STOPボタン**[A]**(または**[B]**)を押す。



撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。



- 液晶画面の表示は、電源を入れたり、撮影(動画・静止画)/再生モードを変えたりしてから約3秒経つと消えます。もう一度表示するには、画面をタッチしてください。



⚡ ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
 - アクセスランプ(21ページ)が点灯中、または点滅中
 - 液晶画面右上のメディアアイコンが動作中

ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は103ページをご覧ください。
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます(デュアル記録、30ページ)。
- 人物の顔を検出すると白色の枠が表示され、顔部分の画質が自動的に調節されます([FACE DETECTION]、82ページ)。
- 優先する被写体を選んで撮影できます(29ページ)。
- 記録した動画から静止画を作成できます(47ページ)。
- 撮影可能時間や空き容量の目安などを確認するには、**MENU**(メニュー)→[Show others]→ [MANAGE MEDIA]の[MEDIA INFO]をタッチします(88ページ)。
- 本機に搭載されている液晶画面は、記録エリア全体を表示できます(フルピクセル表示)。このため、フルピクセル表示機能のないテレビに接続した場合、画面の上下左右が若干切れて表示されることがあります。[GUIDEFRA] (81ページ)を[ON]にして、表示される外側の枠を目安に撮影することをおすすめします。
-  [STEADYSHOT]機能は、お買い上げ時の設定は[ACTIVE]です。

撮影時のデータについて

撮影時の日時と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータとして確認できます(85ページ)。

静止画を撮る

お買い上げ時の設定では、静止画は内蔵メモリーに記録されます。

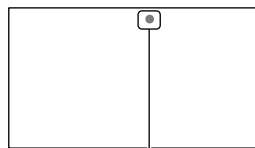
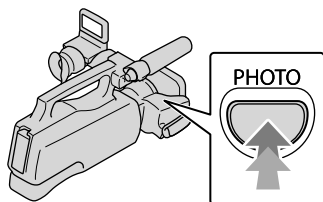
💡 ちょっと一言

- 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。

1 MODEボタンを押して、📷(静止画)ランプを点灯させる。

静止画撮影モードに切り替わり、画像の横縦比が4：3になります。

2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。



点滅 → 点灯

|||||が消えると記録されます。

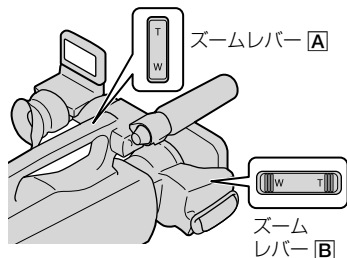
💡 ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数は104ページをご覧ください。
- 画像サイズは、**MENU** (メニュー) → [Show others] → 📷 [PHOTO SETTINGS] の [IMAGE SIZE] → 好みの設定 → **OK** → **X** をタッチして変更できます。
- 📷 表示中は静止画撮影できません。

撮るときに便利な機能

ズームする

17倍までズームできます。倍率はズームレバーで調整します。



望遠：Telephoto(テレフォト)



広角：Wide(ワイド)

ズームレバー **B** を軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームする。

⚠️ ご注意

- ズームレバーから急に指を離さずに操作してください。操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー **A** では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- [**ST** STEADYSHOT] が [ACTIVE] 以外のときは、12倍までの光学ズームができます。
- [DISPLAY SET] を [AUTO1] に設定すると、液晶画面の **W**/**T** でもズームできますが、ズームする速さを変えることはできません。

💡 ちょっと一言

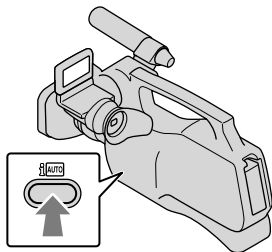
- [**DZ** DIGITAL ZOOM] (83ページ) を使うと、17倍を超えたズームを使えます。

カメラまかせでかんたんキレイに撮影する(おまかせオート)

iAUTO ボタンを押すと、おまかせオートで撮影できます。本機を撮影したい対象に向けて、顔認識、シーン認識、手ブレ検出の3種類の検出機能を組み合わせて、最適な撮影を行います。シーンなどを検出すると対応するアイコンが表示されます。

💡 ちょっと一言

- お買い上げ時には、おまかせオートは「ON」に設定されています。



顔認識

👤 (人物)、👶 (赤ちゃん)

顔を検出して、顔部分が最適になるようにフォーカス/色/露出を調節します。

シーン認識

☀ (逆光)、🏞 (風景)、🌃 (夜景)、📖 (スポットライト)、🌑 (低照度)、📷 (マクロ)
撮影シーンに合わせて、最適な撮影設定に切り替わります。

手ブレ検出

🚶 (歩き)、👤 (三脚)

手ブレの状態を感知して、撮影に最適な設定に切り替わります。

🔔 ご注意

- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。

おまかせオートを解除するには

📷 **AUTO** ボタンを押す。

📷 **AUTO** や検出モードのアイコンが消え、お好みに合わせて撮影ができます。

また、以下の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。

- [SCENE SELECTION]
- [WHITE BAL.]
- [SPOT MTR/FCS]
- [SPOT METER]
- [SPOT FOCUS]
- [EXPOSURE]
- [FOCUS]
- [TELE MACRO]
- [AE SHIFT]
- [WB SHIFT]
- [SMTH SLW REC]
- [**📷** STEADYSHOT]
- [LOW LUX]
- [FACE DETECTION]
- [AUTO BACK LIGHT]
- [**📷** STEADYSHOT]
- [IRIS]
- [SHUTTER SPEED]
- [PRIORITY SETTING]

🔔 ご注意

- おまかせオートを「ON」にすると、上記設定で手動設定した項目が全てお買い上げ時の設定に戻ります。

ハイビジョン画質(HD)／標準画質(STD)を設定する

本機では、高精細な映像を楽しめるハイビジョン画質(HD)と、再生機器との互換性にすぐれた標準画質(STD)の2種類から画質を選べます。撮影する場面や再生機器に合わせて、お好みの画質を選んでください。

1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → **📷** [SHOOTING SET] の [**HD**] / [**STD**] SET をタッチする。

2 ハイビジョン画質(HD)で撮影するときは [**HD**] HD QUALITY]、標準画質(STD)で撮影するときは [**STD**] STD QUALITY] をタッチする。

3 [YES] → **OK** をタッチする。
記録される画質が切り替わります。

🗨️ ちょっと一言

- 設定した画質でのみ、記録、再生、編集が可能です。別の画質で記録、再生、編集したいときは、画質を設定しなおしてください。

録画モードを選ぶ

ハイビジョン画質(HD)では、4種類の録画モードから選べます。録画モードによって、記録メディアへの録画可能時間が変わります。お買い上げ時の設定では、**[REC MODE]**は**[HD FH]**です。



- 1 **MENU**(メニュー) → **[Show others]** → **[SHOOTING SET]**の**[REC MODE]**をタッチする。

2 好みの設定をタッチする。

ハイビジョン画質(HD)での撮影時に、高画質で撮影する場合はFXモードを、長時間撮影する場合はHQ、LPモードを選んでください。

- 3 **OK** → **×** をタッチする。

④ ご注意

- **[REC MODE]**を**[HD FX]**にして撮影した動画からAVCHDディスクを作成することはできません。ブルーレイディスクまたは外付けメディアに保存してください(62、64、69ページ)。
- **[REC MODE]**を**[HD FX]**に設定しているときは、デュアル記録はできません。また、スミルシャッターは作動しません。

🗨️ ちょっと一言

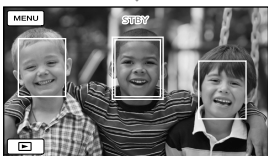
- ハイビジョン画質(HD)のFX、FHモードではAVCHD規格の1920×1080/60iになります。HQ、LPモードでは1440×1080/60iになります。標準画質(STD)では、MPEG-2規格で撮影します。
- ハイビジョン画質(HD)の画質を次から選べます。**[HD FX]**の24Mは、最大ビットレートです。**[HD FX]**以外の17Mなどの数値は、平均ビットレートです。
 - **[HD FX]** (AVC HD 24M(FX))
 - **[HD FH]** (AVC HD 17M(FH))(お買い上げ時の設定)
 - **[HD HQ]** (AVC HD 9M(HQ))
 - **[HD LP]** (AVC HD 5M(LP))
- 標準画質(STD)の画質は次の数値に固定されます。9Mは、平均ビットレートです。
 - **[STD HQ]** (STD 9M(HQ))
- 24Mなどの「M」は「Mbps」のことです。

優先する被写体を決めて撮影する

[FACE DETECTION] (82ページ)が[ON] (お買上げ時の設定)で複数の顔が認識されたときに、優先させたい被写体の顔をタッチすると、タッチされた顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。



優先させたい顔にタッチ



二重枠が表示される

解除するには、二重枠のついた顔にもう一度タッチする。他の顔枠にタッチすると、二重枠のついた顔が解除され、新しくタッチした顔に二重枠が移ります。

⚠️ ご注意

- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによってタッチした顔が正しく検出できないことがあります。この場合は、撮影するときにもう一度タッチしてください。

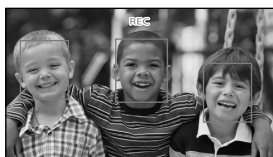
💡 ちょっと一言

- [SMILE DETECTION]を[DUAL CAPTURE]か[ALWAYS ON]に設定していると(82ページ)、タッチされた顔はスマイルシャッターでも優先され、笑顔を検出すると自動的に静止画を記録します。

- スマイル検出の対象となる顔の二重枠はオレンジ色になります。
- タッチした顔が画面から消えた場合は、[PRIORITY SETTING] (82ページ)で設定した被写体を優先します。タッチした顔が画面に戻った場合は、タッチした顔が優先になりません。

笑顔を自動で撮影する(スマイルシャッター)

人物の笑顔を検出して自動的に静止画を記録します。スマイル検出の対象となる顔にはオレンジ色の枠がつかます。お買上げ時の設定は[OFF]に設定されています。スマイルシャッター機能を使うときは、[SMILE DETECTION] (82ページ)で設定を変えてください。



⚠️ ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- [REC MODE]を[HD FX]に設定しているときは、動画撮影中にスマイルシャッターは動作しません。

💡 ちょっと一言

- [PRIORITY SETTING] (82ページ)で顔検出とスマイル検出の対象被写体を設定できます。液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります。
- 笑顔が検出できない場合は、[SMILE SENSITIVITY] (83ページ)の設定をしてください。

動画を撮りながら静止画を撮る (デュアル記録)

動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます。

⚠️ ご注意

- 記録メディアの容量不足時や、連続して静止画を撮影すると、🔴が表示されることがあります。表示されている間は撮影できません。
- [REC MODE]を[HD FX]に設定しているときは、デュアル記録はできません。

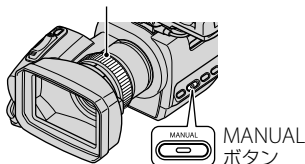
🗨️ ちょっと一言

- MODEランプが📹(動画)のとき、静止画の画像サイズは📺(5.3M) (16 : 9)または[4.0M] (4 : 3)になります。
- 撮影スタンバイ中は📷(静止画)ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。

カメラコントロールリング (RING)でマニュアル調節する

よく使うメニュー項目をカメラコントロールリング(RING)に割り当てると便利です。ここでは[FOCUS] (お買い上げ時の設定)が割り当てられているときの説明をします。

カメラコントロールリング(RING)



1 MANUALボタンを押して、手動にする。

押すたびに自動/手動が切り替わります。

2 カメラコントロールリング (RING)を回して、手動でピン トを合わせる。

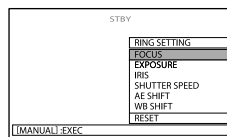
設定できる項目

下記から選択できます。

- [FOCUS] (79ページ)
- [EXPOSURE] (79ページ)
- [IRIS]
- 絞り優先で撮影します。絞りを調整することで、背景をぼかして被写体をより引き立てたり、逆に背景にもピントがあった撮影ができます。
- [SHUTTER SPEED]
- シャッター速度優先で撮影します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。
- [AE SHIFT] (80ページ)
- [WB SHIFT] (80ページ)

メニュー項目を割り当てるには

- 1 MANUALボタンを数秒間押し続ける。
[RING SETTING]画面が表示されます。




- 2 カメラコントロールリング(RING)を回して、割り当てたい項目を選ぶ。
- 3 MANUALボタンを押す。

⚡️ ご注意

- [IRIS]と[SHUTTER SPEED]は、動画撮影中にMANUALボタンを押して自動/手動を切り換えることはできません。撮影前に設定してください。
- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、[AE SHIFT]を手動設定したあとで[EXPOSURE]を設定した場合、[AE SHIFT]の効果は無効になります。
- [EXPOSURE]、[IRIS]、[SHUTTER SPEED]は同時に選択することはできません。1つ選択すると、それ以外の2つの設定は解除されます。
- 手順②で[RESET]を選択すると、手動設定した項目が、すべてお買い上げ時の設定に戻ります。

💡 ちょっと一言

- **MENU** (メニュー) → [Show others] →  [SHOOTING SET]の[OTHER REC SET] → [RING SETTING]でメニュー項目を割り当てることもできます。
- [IRIS]をF3.4より開いた値(小さい絞り値)に設定しても、W側(広角)からT側(望遠)にズームするにつれて、絞り値はF3.4に変化します。
- [IRIS]を変えることで、ピントの合う範囲が変わります。[IRIS]を開ける(絞り値が小さい)ほどその範囲が狭くなり、[IRIS]を絞る(絞り値が大きい)ほどその範囲が広がります。撮影の意図によって絞りの効果を使い分けることができます。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 撮影時の設定によって表示されるカメラデータが異なります(86ページ)。次のようなアイコンで表示されます。

AUTO …オート時

MANUAL …画像明るさマニュアル設定時

AE A …絞り優先時

AE S …シャッタースピード優先時

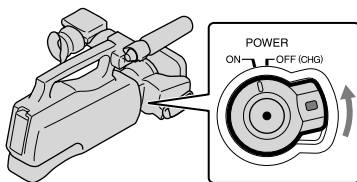
本機で見る

お買い上げ時の設定では、内蔵メモリーに記録した動画や静止画を再生します。

🗣️ ちょっと一言

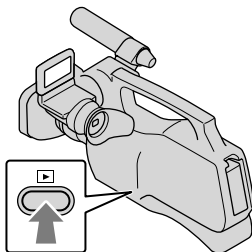
- 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。



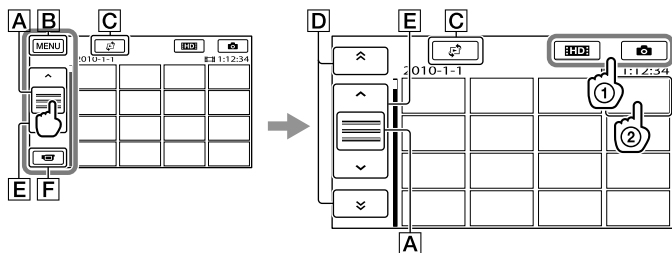
2 ▶(画像再生)ボタンを押す。

数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。



- 液晶画面の▶(画像再生)をタッチしても同じです。
- 撮影された画像が、撮影日ごとに表示されます。

- 3 動画を見る場合は、**HDP**または**STD**(①)→見たい動画(②)をタッチする。
静止画を見る場合は、**静止画**(①)→見たい静止画(②)をタッチする。



A 操作ボタンの切り換え

B メニューへ

C インデックス切り換え画面([DATE INDEX] (35ページ)、[FILM ROLL] (35ページ)、[FACE] (36ページ))を表示する。

D **▲**/**▼** : 前の撮影日へ/次の撮影日へ*

E **▲**/**▼** : 前の動画へ/次の動画へ

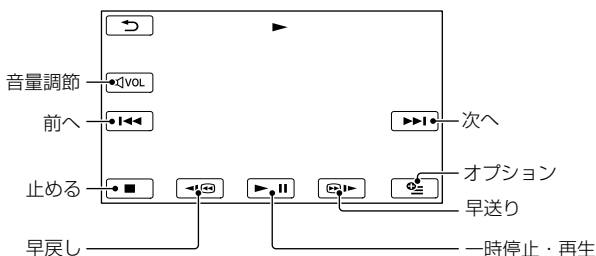
F 撮影画面へ

* **A**をタッチすると表示されます。

- [**HDP**/**STD**SET] (27ページ)で標準画質(STD)の動画を選択しているときは、①に**STD**が表示されます。
- **D**や**E**をタッチしたままですらすと、画面をスクロールできます。
- 最後に再生・撮影した動画や静止画に**▶**が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。(メモリーカードに記録された静止画は**▶**)

動画の場合

動画の再生が始まります。



🔔 ご注意

- 他機では再生できない場合があります。

💡 ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に **⏮** / **⏭** をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、**⏮** / **⏭** はタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- MENU** (MENU) → [Show others] → **▶** [PLAYBACK] の [VISUAL INDEX] をタッチして、ビジュアルインデックスを表示することもできます。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、**MENU** (MENU) → [Show others] → **▶** [PLAYBACK] の [PLAYBACK SET] → [DATA CODE] → 好みの設定 → **OK** → **⏮** → **✕** をタッチすると再生時に表示できます。

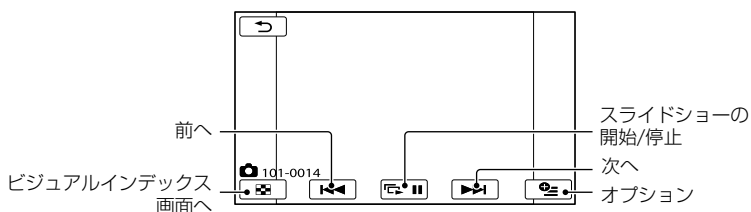
音量を調節するには

動画再生中に、**◀VOL** (音量調節) → **⏮** / **⏭** で調節 → **▶** をタッチします。

- ⚙** (オプション) から **⏮** / **⏭** で調節できます。

静止画の場合

静止画が再生されます。



💡 ちょっと一言

- 静止画の記録メディアがメモリーカードのときは、**101** (再生フォルダ) が表示されます。

見るときに便利な機能

撮影日から画像を探す(日付インデックス)

撮影日から効率よく画像を探すことができます。

🚫 ご注意

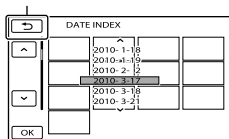
- 日付インデックスは、メモリーカードの静止画では利用できません。

1 🔄 (画像再生) ボタンを押す。

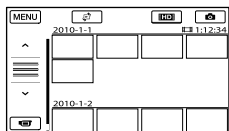
ビジュアルインデックスが表示されます。

2 🏠 → [DATE INDEX] をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る



3 ▲/▼ をタッチして見たい画像の撮影日を選び、OK をタッチする。



選んだ日付に撮影した画像が表示されます。

🗨️ ちょっと一言

- フィルムロールインデックスやフェイスインデックスでも画面右上の日付表示をタッチして、日付インデックスを表示できます。

ピンポイントで見たい場面を探す(フィルムロールインデックス)

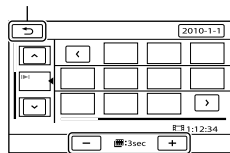
撮影した動画を時間間隔で区切ったものがインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。

1 🔄 (画像再生) ボタンを押す。

ビジュアルインデックスが表示されます。

2 🏠 → [FILM ROLL] をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る



時間間隔を設定する

3 ▲/▼ をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ◀/▶ をタッチして表示された場面の中から、再生したい場面をタッチする。

選んだ場面から再生されます。

顔画像から見たい場面を探す (フェイスインデックス)

撮影時に検出した人物の顔画像やタッチした顔画像がインデックス画面で表示されます。

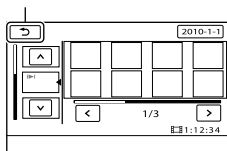
選んだ顔画像からの動画を再生できます。

1 [▶] (画像再生) ボタンを押す。

ビジュアルインデックスが表示されます。

2 [👉] → [👤FACE] をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る



3 [▲]/[▼] をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 [◀]/[▶] をタッチして表示された顔画像の中から、再生したい場面の顔画像をタッチする。

選んだ顔画像の場面から再生されます。

🔔 ご注意

- 撮影状況によっては顔が検出されない場合があります。

例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など

- フェイスインデックスから見るには、[FACE DETECTION] をあらかじめ [ON] (82ページ) (お買い上げ時の設定) にして撮影してください。

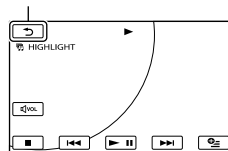
ハイライトを再生する (ハイライト再生)

ハイビジョン (HD) 画質で撮影した動画のハイライトシーンを自動的に選び、BGMや効果つきで再生します。撮影した動画をダイジェストで楽しみたいときに便利です。再生されるシーンは、ハイライト再生をするたびに異なります。気に入ったハイライト再生のシナリオを保存することができます。

MENU (メニュー) → [Show others] → [▶] [PLAYBACK] の [HIGHLIGHT] をタッチする。

ハイライト再生の設定内容が表示されるから、数秒後にハイライト再生が始まります。

ビジュアルインデックス画面に戻る



再生を止めるには

一時停止は [▶||] をタッチする。

中止するときは [■]、または [⏪] をタッチする。

ハイライト再生の設定を変えるには

[**☞**HIGHLIGHT]をタッチした後、ハイライト再生が始まる前に[HIGHLIGHT SET]をタッチします。次の項目を設定できます。

• [PLAYBACK RANGE]

ハイライト再生の再生範囲を設定します。開始日と終了日を選んで**OK**をタッチする。再生範囲が設定されていないときは、ビジュアルインデックスに表示されている日付から、最新の撮影日までが範囲となります。

• [THEME]

ハイライト再生のテーマを次から選択します。テーマによってBGMが自動的に選ばれます。[SIMPLE]、[NOSTALGIC]、[STYLISH]、[ACTIVE] (お買い上げ時の設定)

• [MUSIC]

ハイライト再生のBGMは[THEME]に合わせて自動的に選ばれますが、以下からBGMを選択することもできます。

[MUSIC1] ~ [MUSIC4]

• [AUDIO MIX]

撮影時の音声をBGMと組み合わせて再生します。**</>**をタッチしてバランスを調節します。

• [SHUFFLE]

[ON]にすると、ハイライトシーンが順不同に再生されます。

🔔 ご注意

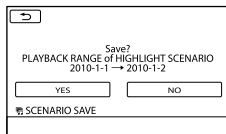
- 一度ハイライトを再生すると、[PLAYBACK RANGE]は解除されます。

💡 ちょっと一言

- ハイライトを再生中に、**☞** (オプション)をタッチしてハイライト再生の設定をすることもできます。
- ハイライト再生の設定を変更すると、ハイライトシーンを選びなおします。
- [THEME]を選んだ後に[MUSIC]で別の音声を選ぶと、次から選んだ音声が再生されます。

ハイライト再生のシナリオを保存するには

ハイライトを再生中に**☞** (オプション) → [**☞**SCENARIO SAVE] → [YES]をタッチします。



- 最大8個までのシナリオを保存できます。すでに8個保存されている場合は、画面に[HIGHLIGHT SCENARIO full. HIGHLIGHT SCENARIOS may be erased when the **☞** SCENARIO ERASE button is pressed.]と表示されます。不要なシナリオを消去してください。

保存されたハイライト再生のシナリオを再生するには

MENU (メニュー) → [Show others] →

▶ [PLAYBACK]の [**☞**SCENARIO]をタッチし、**</>**で再生したいシナリオを選び**OK**をタッチします。

🔔 ご注意

- 再生しようとしているハイライトシナリオに含まれる動画が削除または分割されている場合は、その部分を飛ばして再生します。

保存されたハイライト再生のシナリオを消去するには

MENU (メニュー) → [Show others] →

✎ [EDIT]の [**☞**SCENARIO ERASE] → [ERASE]をタッチして、**</>**で消去したいシナリオを選び**OK** → [YES] →

OK → **✕**をタッチする。

- 保存されている全てのシナリオを消去するときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] → **✎** [EDIT]の [**☞**SCENARIO ERASE] →

[ERASE ALL] → [YES] → [YES] → **OK**

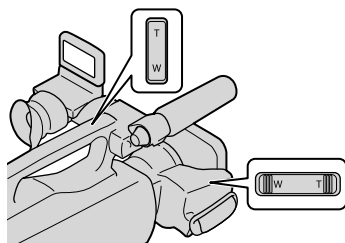
→ **X** をタッチする。

- ハイライトシナリオ再生中やシナリオの選択画面で **Q** (オプション) をタッチしてもシナリオを消去できます。

静止画を再生ズームする

静止画を1.1倍～5倍の範囲でズームできます。

倍率はズームレバーで調整します。



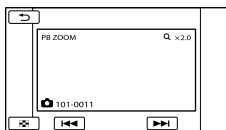
1 拡大したい静止画を表示する。

2 T(望遠)で静止画を拡大する。

画面に枠が表示されます。

3 画面中央に表示したい部分をタッチする。

タッチした部分が画面中央に移動します。



4 W(広角)/T(望遠)で静止画の大きさを調節する。

終了するには、**➡** をタッチします。

静止画を連続再生する(スライドショー)

静止画再生画面で、**⏮** **||** をタッチする。

選んだ静止画からスライドショーが始まります。

中止するには

⏮ **||** をタッチする。

再開するには

もう一度 **⏮** **||** をタッチする。

🔔 ご注意

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

🗣️ ちょっと一言

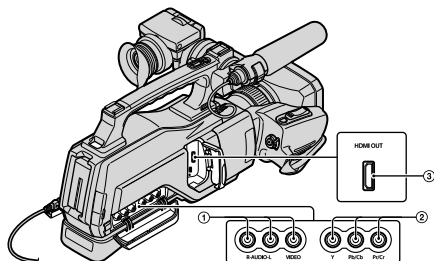
- 静止画再生中に、**Q** (オプション) → **▶** タブ → [SLIDE SHOW SET] で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます(お買い上げ時は[ON])。

テレビにつないで見る

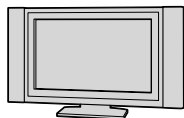
テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



ハイビジョンテレビの接続方法



記録画質がハイビジョン画質(HD)のときはハイビジョン画質(HD)で、標準画質(STD)のときは標準画質(STD)で再生されます。

コンポーネント(ピン端子)



音声端子



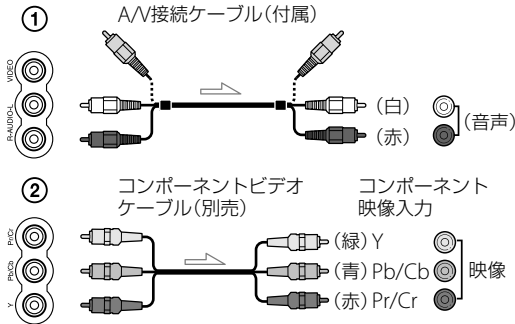
HDMI端子



⇨ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

A



[Show others] →
 ⌂(GENERAL SET)の
 [OUTPUT SETTINGS]
 → [COMPONENT] →
 [1080i/480i] (90ページ)

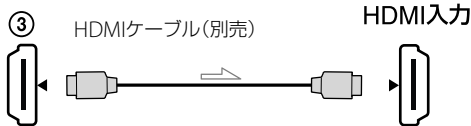
⚠ ご注意

- コンポーネントビデオケーブル(別売り)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはA/V接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。

⇨ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

B

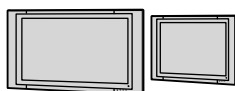


[Show others] →
 ⌂(GENERAL SET)の
 [OUTPUT SETTINGS]
 → [HDMI
 RESOLUTION] → [HD
 CONTENTS] / [STD
 CONTENTS] →
 [AUTO] (90ページ)

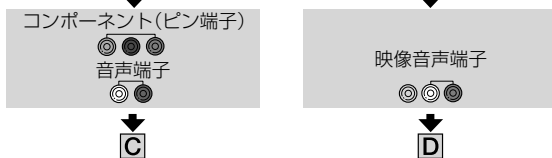
⚠ ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 記録した画質によって [HD CONTENTS] / [STD CONTENTS] を選んでください(90ページ)。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機はプラビアリンクに対応していません。

ハイビジョン非対応のワイドテレビ/4：3テレビの接続方法



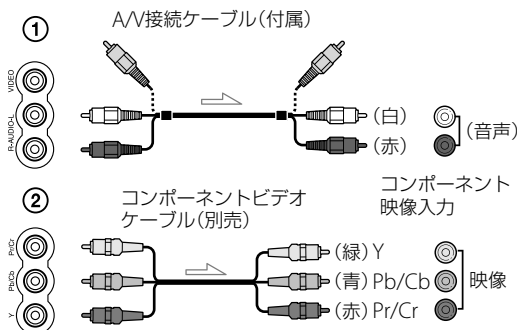
記録画質がハイビジョン画質(HD)のときは変換して標準画質(STD)で、標準画質(STD)のときは標準画質(STD)で再生されます。



▬ : 信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

C



[Show others] →
 (GENERAL SET)の
 [OUTPUT SETTINGS]
 → [COMPONENT] →
 [1080i/480i] (90ペー
 ジ)
 [OUTPUT SETTINGS]
 → [TV TYPE] → [16:9]
 / [4:3] * (90ページ)

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

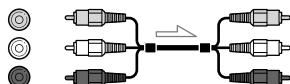
⚡ ご注意

- コンポーネントビデオケーブル(別売り)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはA/V接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

D

① A/V接続ケーブル(付属)



(黄) ● (映像)
(白) ● (音声)
(赤) ● (音声)

[Show others] → (GENERAL SET)の [OUTPUT SETTINGS] → [TV TYPE] → [16:9] / [4:3] * (90ページ)

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

ハイビジョン非対応のテレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の横縦比を変えるには

お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[TV TYPE]を[16:9]または[4:3]に設定してください(90ページ)。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

⚠ ご注意

- 標準画質(STD)で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に **MENU** (メニュー) → [Show others] → [SHOOTING SET]の [OTHER REC SET] → [WIDE SELECT] → [4:3] → **OK** → → をタッチして、4:3で撮影してください(84ページ)。

💡 ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI → コンポーネント → 映像端子の順で優先されます。
- HDMI (High Definition Multimedia Interface) とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

“ブラビア プレミアムフォト”について

本機は“ブラビア プレミアムフォト”に対応しています。“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル*またはコンポーネントビデオケーブル**で接続すると、今までになかった感動のFull HD高画質で写真をお楽しみいただけます。

* 静止画表示時にテレビの設定が自動的に切り替わります。

** テレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。

⚠️ ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードに記録した画像の削除中はメモリーカードを抜かないでください。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(46ページ)。
- 削除した動画がプレイリスト(50ページ)に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 削除した動画が保存したハイライトシナリオ(37ページ)に含まれている場合は、シナリオからも削除されます。

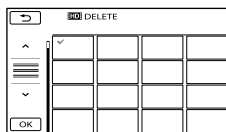
💡 ちょっと一言

- 画像の再生画面の (オプション)からも削除できます。
- 記録メディアに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(88ページ)。
- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

1 **MENU** (メニュー) → **[Show others]** → **[EDIT]** の **[DELETE]** をタッチする。

2 動画を削除するときは **[DELETE]** → **[HOLD] DELETE** / **[HOLD] DELETE** をタッチする。
 • 静止画を削除するときは **[DELETE]** → **[DELETE]** をタッチする。

3 削除したい動画・静止画をタッチして、 を付ける。



- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

4 **OK** → **[YES]** → **OK** → **X** をタッチする。

動画・静止画をすべて削除するには

手順2で **[DELETE]** → **[HOLD] DELETE ALL** / **[HOLD] DELETE ALL** → **[YES]** → **[YES]** → **OK** → **X** をタッチする。

- 静止画をすべて削除するときは **[DELETE]** → **[DELETE ALL]** → **[YES]** → **[YES]** → **OK** → **X** をタッチする。

記録した画像を保護する(プロテクト)

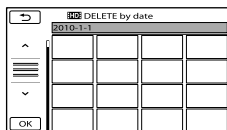
動画・静止画を日付ごとにまとめて削除するには

④ ご注意

- メモリーカードに記録した静止画を日付指定削除することはできません。

① 手順2で[**DELETE**] → [**HDD**: DELETE by date] / [**EXTD**: DELETE by date] をタッチする。

- 静止画を日付ごとにまとめて削除するときは[**DELETE**] → [**DELETE** by date] をタッチする。



② **▲** / **▼** をタッチして、削除したい動画・静止画の撮影日を選んで、**OK** をタッチする。

- サムネイルをタッチするとプレビューできます。**⏪** で選択画面に戻ります。

③ [YES] → **OK** → **×** をタッチする。

誤って動画・静止画を削除してしまうことを防げます。

④ ちょっと一言

- 動画・静止画の再生画面の **🔒** (オプション) からプロテクトできます。

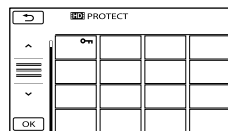
1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → **🔍** [EDIT] の [**PROTECT**] をタッチする。

2 動画をプロテクトするときは [**PROTECT**] → [**HDD**: **PROTECT**] / [**EXTD**: **PROTECT**] をタッチする。

- 静止画をプロテクトするときは [**PROTECT**] → [**PROTECT**] をタッチする。

3 プロテクトする動画・静止画をタッチする。

画像に **🔒** マークがつく。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。**⏪** で選択画面に戻ります。

4 **OK** → [YES] → **OK** → **×** をタッチする。

動画を分割する

プロテクトを解除するには

手順3で○**PROTECT**マークがついている動画・静止画をタッチする。

○**PROTECT**マークが消えます。

撮影した日付ごとにまとめてプロテクトするには

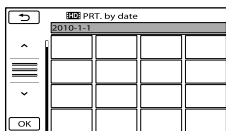
④ ご注意

- ・メモリーカードに記録した静止画を日付指定プロテクトすることはできません。

① 手順2で[**PROTECT**] →

[**HDPRT**: PRT. by date] / [**STOP**: PRT. by date] をタッチする。

- ・静止画を日付ごとにまとめてプロテクトするときは[**PROTECT**] → [**PRT. by date**] をタッチする。



② **▲** / **▼** をタッチして、プロテクトしたい動画・静止画の撮影日を選んで、**OK** をタッチする。

- ・サムネイルをタッチすると、プレビューできます。**ESC** で選択画面に戻ります。

③ [**PROTECT**] → **OK** → **×** をタッチする。

撮影した日付ごとにプロテクトを解除するには

手順②でプロテクトを解除したい動画・静止画の撮影日を選んで、**OK** → [**UNPROTECT**] → **OK** → **×** をタッチする。

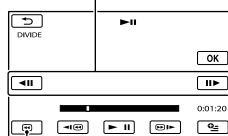
1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → [**EDIT**] の [**DIVIDE**] をタッチする。

2 分割したい動画をタッチする。 選んだ動画が再生されます。

3 分割したいところで **▶||** をタッチする。

再生が一時停止します。**▶||** を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

▶|| で分割位置を決定してから微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 **OK** → [**YES**] → **OK** をタッチする。

④ ご注意

- ・いったん分割した動画は元に戻せません。
- ・プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください (45ページ)。
- ・分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、メモリーカードに記録された動画の分割中はメモリーカードを抜かないでください。

動画から静止画を作る

- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、**▶||** で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。
- 分割した動画が保存したハイライトシナリオ(37ページ)に含まれている場合は、シナリオから削除されます。
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、付属のソフトウェア「PMB」をお使いください。

💡 ちょっと一言

- 動画の再生画面の **☰** (オプション) から分割できます。

本機の内蔵メモリーに撮影した動画から静止画を作成できます。あらかじめ [MOVIE MEDIA SET] を [INT. MEMORY] に設定してください(19ページ)。

1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → **📷** [EDIT] の [PHOTO CAPTURE] をタッチする。

[PHOTO CAPTURE] 画面が表示されます。

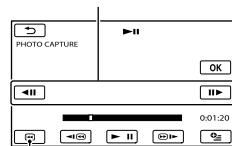
2 静止画を切り出したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

3 静止画にしたい場面で **▶||** をタッチする。

再生が一時停止します。**▶||** を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

▶|| で場面を決定してから微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 **OK** をタッチする。

静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

- [PHOTO MEDIA SET] (19ページ)で設定されている記録メディアに記録されません。
- 続けて静止画を作成するには、**▶ II** をタッチしてから、手順3以降を行う。
- 別の動画を選ぶには、**➡** をタッチして手順2から行う。

5

➡ → **✕** をタッチする。

⚡ ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおり固定されます。
 - ハイビジョン画質 (HD) のときは **2.1M**
 - 標準画質 (STD) でワイド (16 : 9) のときは **0.2M**
 - 標準画質 (STD) で4 : 3のときは **VGA (0.3M)**
- 静止画を記録する記録メディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

内蔵メモリーからメモリーカードに動画・静止画をダビング・コピーする

動画をダビングする

本機の内蔵メモリーに撮影した動画を、メモリーカードにダビングできます。メモリーカードを本機に入れておいてください。

⚡ ご注意

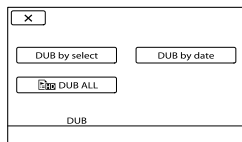
- 初めてメモリーカードに動画を記録するときには、**MENU** (メニュー) → [Show others] → **☰** [MANAGE MEDIA] の [REPAIR IMG.DB F.] → [MEMORY CARD] で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

💡 ちょっと一言

- ダビングしても、元の動画は削除されません。
- プレイリストをダビングすると、含まれる全画像がダビングされます。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → **☰** [EDIT] の **[MOVIE DUB]** をタッチする。

[MOVIE DUB] 画面が表示されます。



2 ダビングの種類をタッチする。

[DUB by select]：動画を選んでダビングする。

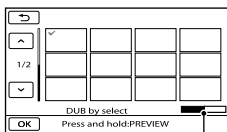
[DUB by date]：動画を指定した日付ごとダビングする。

[HD DUB ALL]：ハイビジョン画質(HD)のプレイリストをダビングする。

[STD DUB ALL]：標準画質(STD)のプレイリストをダビングする。
ダビング元にプレイリストを選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

3 ダビングする動画を選ぶ。

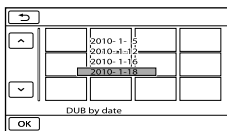
[DUB by select]：ダビングする動画をタッチして、✓マークをつける。複数選択できます。



メモリーカードの残量の目安

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。☞で選択画面に戻ります。

[DUB by date]：ダビングする日付を選んで、OKをタッチする。複数の日付は選べません。



4 OK → [YES] → OK → × をタッチする。

ちょっと一言

- ダビングができていないかを確認するには、[MOVIE MEDIA SET]で[MEMORY CARD]を設定して確認してください(19ページ)。

静止画をコピーする

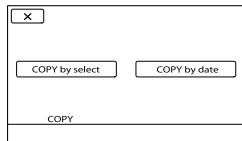
本機の内蔵メモリーに保存した静止画をメモリーカードにコピーします。コピー先のメモリーカードを本機に入れておいてください。

ご注意

- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENU(メニュー) → [Show others] → [EDIT]の[PHOTO COPY]をタッチする。

[PHOTO COPY]画面が表示されます。



2 コピーの種類をタッチする。

[COPY by select]：静止画を選んでコピーする。

[COPY by date]：指定した日付の静止画をまとめてコピーする。

動画のプレイリストを使う

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。

プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。

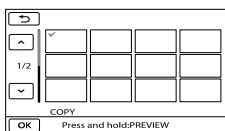
プレイリストを作る

④ ご注意

- ハイビジョン画質(HD)の動画と標準画質(STD)の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

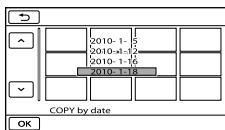
3 コピーする静止画を選ぶ。

[COPY by select] : コピーする静止画をタッチして、✓マークをつける。複数選択できます。



- サムネイルを長押しするとプレビューできます。⏪ で選択画面に戻ります。

[COPY by date] : コピーする日付を選んで、OK をタッチする。複数の日付は選べません。



4 OK → [YES] → OK → ✕ をタッチする。

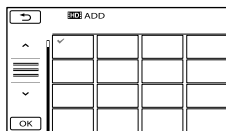
💡 ちょっと一言

- コピーができていないかを確認するには、[PHOTO MEDIA SET] で [MEMORY CARD] を設定して確認してください(19ページ)。

1 MENU (メニュー) → [Show others] → [EDIT] の [PLAYLIST EDIT] をタッチする。

2 [HD] ADD / [STD] ADD をタッチする。

3 追加したい動画をタッチする。



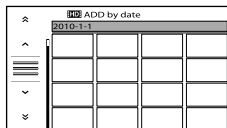
選んだ動画に ✓ が表示されます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。⏪ で選択画面に戻ります。

4 OK → [YES] → OK → ✕ をタッチする。

動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

- ① 手順2で[HD:ADD by date]/[STD:ADD by date]をタッチする。日付選択画面が表示されます。



- ② **▲** / **▼** をタッチして、追加したい動画の撮影日を選んで、**OK** をタッチする。
- サムネイルをタッチするとプレビューできます。**↶** で選択画面に戻ります。
- ③ [YES] → **OK** → **×** をタッチする。

⚡ ご注意

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、メモリーカードに記録された動画の追加中はメモリーカードを抜かないでください。
- 静止画はプレイリストに追加できません。
- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(STD)が混在したプレイリストは作成できません。

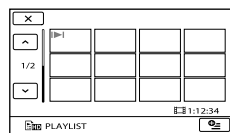
💡 ちょっと一言

- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(STD)で99個までの動画を追加できます。
- 動画の再生画面やプレイリスト画面から、**⊕** (オプション)をタッチして追加することもできます。

プレイリストを再生する

- 1 **MENU** (メニュー) → [Show others] → **▶** [PLAYBACK] の [PLAYLIST] をタッチする。

プレイリストに追加された動画が表示されます。



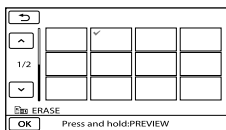
- 2 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

- ① **MENU** (メニュー) → [Show others] → **✎** [EDIT] の [PLAYLIST EDIT] をタッチする。
- ② [**HD** ERASE] / [**STD** ERASE] をタッチする。
- すべての動画を一括して消去するには、[**HD** ERASE ALL] / [**STD** ERASE ALL] → [YES] → [YES] → **OK** → **×** をタッチする。

- ③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。



選んだ動画に✓が表示されます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。⏪ で選択画面に戻ります。

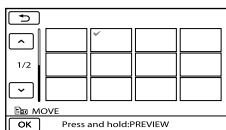
- ④ **OK** → [YES] → **OK** → **X** をタッチする。

💡 ちょっと一言

- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。

追加した動画を並べ換えるには

- ① **MENU** (メニュー) → [Show others] → [EDIT] の [PLAYLIST EDIT] をタッチする。
- ② [MOVE] / [STD MOVE] をタッチする。
- ③ 移動させたい動画をタッチする。

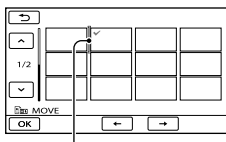


選んだ動画に✓が表示されます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。⏪ で選択画面に戻ります。

- ④ **OK** をタッチする。

- ⑤ **←** / **→** で移動先を選ぶ。



移動先表示

- ⑥ **OK** → [YES] → **OK** → **X** をタッチする。

💡 ちょっと一言

- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

パソコンの準備をする

(Windows)

「PMB(Picture Motion Browser)」を使うと次の操作を楽しむことができます。

- パソコンへの画像取り込み
 - 取り込んだ画像の閲覧、編集
 - ディスクの作成
 - 動画・静止画をWebにアップロード
- パソコンで動画・静止画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROMから「PMB」をインストールします。

詳しくは、PMBサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/pmb-sj/>

ⓘ ご注意

- パソコンから本機の記録メディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「PMB」を使用して作成したAVCHDディスクを入れしないでください。ディスクを取り出せなくなることがあります。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS* ¹
Microsoft Windows XP SP3 *2/Windows Vista SP2/Windows 7
CPU* ³
Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上 (HD FX/HD FHの動画を扱うときは、Intel Core 2 Duo 2.26GHz以上) ただし、以下の場合については、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 - 動画・静止画のパソコンへの取り込み - ワンタッチディスク - ブルーレイディスク・AVCHDディスク・DVDビデオ作成(ただし、ハイビジョン画質(HD)から標準画質(STD)に変換してDVDビデオ作成する場合は、Intel Core Duo 1.66GHz以上が必要になります。) - ディスクのコピー - 標準画質(STD)の動画のみ扱う場合

ソフトウェア
DirectX 9.0c以降 (DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用になるにはDirectXがインストールされている必要があります。)
メモリー
Windows XP : 512MB以上(1GB以上を推奨) ただし、標準画質(STD)の動画のみを扱う場合は、256MB以上で可能です。 Windows Vista/Windows 7 : 1GB以上
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量： 約500MB(AVCHDディスクを作成する場合には、10GB以上必要になる場合もあります。ブルーレイディスク作成時には、最大でおよそ50GB必要になる場合があります。)
ディスプレイ
解像度1,024×768ドット以上
その他
USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))、ブルーレイディスク/DVD作成が可能なディスクドライブ(インストールにはCD-ROMドライブが必要) ハードディスクのファイルシステムは、NTFSまたはexFATを推奨します。

*¹ 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

*² 64bit版を除きます。ディスク作成機能などを使用するには、Windows Image Mastering API(IMAPI) Ver.2.0以上が必要です。

*³ より高速なCPUを推奨します。

ⓘ ご注意

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「PMB」はMacintoshに対応していません。画像を取り込む方法などについてはApple Inc.にお問い合わせください。

準備2 付属ソフトウェア「PMB」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「PMB」をインストールします。

⚠️ ご注意

- お使いのパソコンに、すでにバージョン5.0.00未満の「PMB」がインストールされている場合は、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、一部ご使用いただけなくなる機能があります。また、あわせてインストールされる「PMBランチャー」から「PMB」や他の様々なソフトウェアを起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動にはデスクトップにある「PMBランチャー」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

- インストール画面が表示されます。
- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows

XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYPMB(E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

* ドライブ文字((E:)などは、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

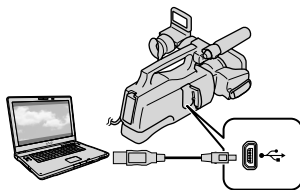


5 国または地域を選ぶ。

6 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。



7 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は○を●に変え、[次へ]→[インストール]をクリックする。


8 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ。



本機に[USB SELECT]画面が表示されます。

9 パソコンに本機を認識させるため、本機の画面に表示されたメディアをタッチする。

[ USB CONNECT] (内蔵メモリー)
[ USB CONNECT] (メモリーカード)

- [USB SELECT]画面が表示されないときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] →  [OTHERS]の[USB CONNECT]をタッチする。




10 パソコンで[続行]をクリックする。

11 パソコンの画面の指示に従ってインストールする。

- 「PMB」のインストール中に本機を接続させる必要があります。
- ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、デスクトップにアイコンが表示されます。パソコンからCD-ROMを取り出してください。



-  : 「PMB」を起動します。
-  : 「PMBヘルプ」を表示します。
-  : 「PMBランチャー」を表示します。


PMBランチャーを使うと、目的に合わせてPMBや他の様々なソフトウェアを起動したり、ウェブサイトを表示したりできます。

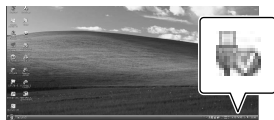
- 上記以外のアイコンが表示されることがあります。
- インストール方法によって、アイコンが表示されないことがあります。

④ ご注意

- Windows XPでディスク作成などの機能を使用するにはWindows XP用Image Mastering API v2.0のインストールが必要です。インストールされていない場合は、インストール画面の必要なソフトウェアから、表示される手順に従ってインストールしてください。また、該当機能の起動時にメッセージが表示されますので、それに従ってインストールすることも可能です。インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。

本機とパソコンの接続を終了するには

- ① パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン → [USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



- ② 本機の画面で [END] → [YES] をタッチする。
- ③ USBケーブルを取り外す。

④ ご注意

- パソコンからのアクセスは、付属の「PMB」を使用してください。パソコンから直接本機のファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。

「PMB(Picture Motion Browser)」を起動する

- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「PMB」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- 長い時間撮影を行い動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されています。その為、録画後の記録メディア内を直接パソコンで見ると、複数のファイルに分割されて見える場合があります。
- 付属の「PMB」を使わずに取り込みをおこなうと、撮影中に2GBを超えて自動的に生成されたファイルがうまく連結できない場合もあります。他の編集ソフトをご利用の場合でも、パソコンへの取り込みには、付属のソフトウェア「PMB」をお使いください。ファイルは連結されてパソコンに取込まれます。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、44ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 書き込み可能なブルーレイディスクドライブをお持ちの場合は、ブルーレイディスクを作成できます。BD アドオンソフトウェアのインストール方法は62ページをご覧ください。

デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックします。



④ ご注意

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]の順にクリックして起動してください。

「PMB」を使って、動画・静止画の閲覧、編集、ディスク作成などができます。

「PMBヘルプ」を見る

「PMB」の使いかたを調べるには、「PMBヘルプ」をご覧ください。デスクトップの「PMBヘルプ」のショートカットをダブルクリックすると開きます。

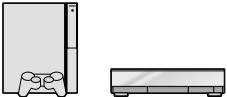


④ ご注意

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBヘルプ]の順にクリックしてください。「PMB」のヘルプメニューからも開けます。

ディスクの作りかたを選ぶ(パソコン)

ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。


再生機器	作りかたとディスクの種類
ブルーレイディスク再生機器 (ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)	① パソコンに保存する(60ページ)。 ↓ ② ハイビジョン画質(HD)のブルーレイディスク*を作るには(62ページ)。
AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)	ワンタッチでディスクを作る(ワンタッチディスク)(59ページ)。
	① パソコンに保存する(60ページ)。 ↓ ② AVCHDディスクを作る(61ページ)。
一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)	① パソコンに保存する(60ページ)。 ↓ ② 標準画質(STD)のディスクを作る(63ページ)。

* ブルーレイディスクを作成するには、BD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります(62ページ)。


⚡ ご注意

- 本書では、ハイビジョン画質(HD)で保存したDVDディスクを「AVCHDディスク」と表現しています。

ディスクの説明

 ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質(HD)の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。

ハイビジョン画質(HD)の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

 ハイビジョン画質(HD)のディスクは、ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など、AVCHD規格対応再生機器で再生できます。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。

 ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(STD)に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

「PMB」で使えるディスクの種類

「PMB」では以下の12cmのディスクを使えます。ブルーレイディスクについては、62ページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできません。
DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できます。

ご注意

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jp.playstation.com/ps3/update/>

ワンタッチでディスクを作る (ワンタッチディスク)

本機で撮影した動画・静止画のうち、まだワンタッチディスク機能を使ってディスクに保存していない動画・静止画を自動的に選んで保存します。画質は撮影したときの画質で保存されます。

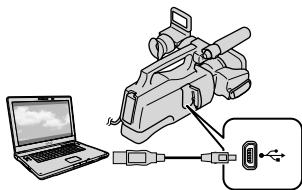
④ ご注意

- ハイビジョン画質(HD)(お買い上げ時の設定)で撮影した動画の場合は、AVCHDディスクが作成されます。
- [REC MODE]を[HD FX]にして撮影した動画から、AVCHDディスクは作成できません。
- ワンタッチディスクで、ブルーレイディスク作成はできません。
- ハイビジョン画質(HD)の動画から標準画質(STD)のディスクを作成する場合は、いったん動画をパソコンに保存して(60ページ)から、標準画質(STD)のディスクを作成(63ページ)してください。
- あらかじめ「PMB」をインストールしてください(54ページ)。ただし、「PMB」は起動しなくても大丈夫です。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- 本機のワンタッチディスク機能では、内蔵メモリーに記録された動画・静止画のみ保存できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

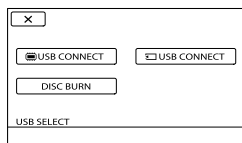
- 使用できるディスクの種類は57ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ。



本機の液晶画面に[USB SELECT]画面が表示されます。

3 本機の液晶画面の[DISC BURN]をタッチする。



4 パソコンの画面の指示に従って操作する。

④ ご注意

- ワンタッチディスクでは、パソコンに動画・静止画は保存されません。

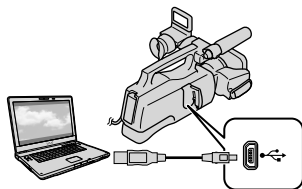
パソコンに保存する

本機で撮影した動画・静止画をパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

④ ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ。



本機の液晶画面に[USB SELECT]画面が表示されます。

2 本機の液晶画面で、取り込みたい画像の記録メディアを選んでタッチする。

[USB CONNECT] : 内蔵メモリー
[USB CONNECT] : メモリーカード

- [USB SELECT]画面が表示されないときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [OTHERS]の[USB CONNECT]をタッチする。

パソコンの画面に取り込み画面が表示されます。

3 [取り込み開始]をクリックする。

- 詳しくは、「PMBヘルプ」(56ページ)をご覧ください。



取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。

動画を編集するには

動画から必要な部分を切り出して、別ファイルとして保存できます。「PMB」のメイン画面で編集したい動画をダブルクリックし、画面右側の[編集パレットを開く] → [動画編集]をクリックするか、[活用]メニューから[編集] → [動画編集]を選択してください。詳しくは、「PMBヘルプ」(56ページ)をご覧ください。

AVCHDディスクを作る

動画から静止画を作るには

動画から静止画を切り出して、別ファイルとして保存できます。

「PMB」のメイン画面で静止画を切り出したい動画をダブルクリックし、画面右側の[編集パレットを開く] → [静止画で保存]の順にクリックします。詳しくは、「PMBヘルプ」(56ページ)をご覧ください。



パソコンに取り込んだ(60ページ)ハイビジョン画質(HD)の動画を選んで、AVCHDディスクを作ります。

ここではDVDディスクにハイビジョン画質(HD)の動画を記録します。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は58ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 「PMB」を起動する(56ページ)。

3 画面左の[カレンダー]または[インデックス]をクリックして日付やフォルダーを選び、書き込むハイビジョン画質(HD)の動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質(HD)の動画にはHDアイコンが付いています。
- 静止画はディスクに保存できません。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画を選べます。

4 画面上部の (ディスク作成) → [AVCHD(HD)作成] をクリックする。



動画の選択画面が表示されます。

- 動画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画を選び、動画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

AVCHDディスクをパソコンで再生するには

「PMB」と同時にインストールされる「Player for AVCHD」を使って再生できます。

起動するには、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBランチャー] → [見る] → [Player for AVCHD]の順にクリックします。操作方法は「Player for AVCHD」のヘルプをご覧ください。

🔔 ご注意

- パソコンの環境によっては、動画がなめらかに再生できないことがあります。

ブルーレイディスクを作るには


パソコンに取り込んだ(60ページ)ハイビジョン画質(HD)の動画から、ブルーレイディスクを作成できます。

作成するにはBDアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。

「PMB」のインストール画面で[BDアドオンソフトウェア]をクリックし、画面の指示に従って、インストールしてください。

- インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。



「AVCHDディスクを作る」(61ページ)の手順1で、ディスクドライブに未使用のブルーレイディスクを入れ、手順4で  (ディスク作成) → [Blu-ray Disc (HD)作成] をクリックします。他の操作手順は同じです。

🔔 ご注意

- お使いのパソコンが、ブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
- ディスクは、BD-R(書き換え不可)、BD-RE(書き換え可)が使えます。追加記録はできません。

標準画質(STD)のディスクを作る

パソコンに取り込んだ(60ページ)動画を
選んで、標準画質(STD)のディスクを作
ります。

④ ご注意

- 素材としてハイビジョン画質(HD)の動画を
選べますが、その場合は、標準画質(STD)に変
換するために記録時間以上の時間がかかります。


1 パソコンの電源を入れ、DVDド
ライブに未使用のディスクを入
れる。

- 使用できるディスクの種類は58ページを
ご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動
した場合は終了してください。

2 「PMB」を起動する(56ページ)。

3 画面左の[カレンダー]または
[インデックス]をクリックして
日付やフォルダーを選び、書き
込む動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質(HD)の動画にはHDア
イコンが付いています。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをク
リックすると複数の動画を選べます。

4  (ディスク作成) → [DVD-
Video(STD)作成]をクリック
する。

動画の選択画面が表示されます。

- 動画を追加したいときは、メイン画面で
追加する動画を選び、動画の選択画面に
ドラッグアンドドロップします。



5 画面の指示に従ってディスクを
作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることが
あります。

ディスクをコピーするには

「Video Disc Copier」を使って、記録済み
のディスクをコピーできます。

[スタート] → [すべてのプログラム] →
[PMB] → [PMBランチャー] → [ディス
ク作成] → [Video Disc Copier]の順に
クリックして起動します。操作方法は
「Video Disc Copier」のヘルプをご
覧ください。

④ ご注意

- ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質
(STD)に変換してコピーはできません。
- ブルーレイディスクはコピーできません。

外付けメディアに保存する

(ダイレクトコピー)

外付けハードディスクなどのメディアに、本機の動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

⚠️ ご注意

- 次の機器は外付けメディアとして使えません。
 - 容量が2TBを超える外付けメディア
 - 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
 - ハブを経由してつないでいる外付けメディア
 - 内部にハブを構成している外付けメディア
 - カードリーダー
- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機で初期化された外付けメディアの場合は、本機で初期化してからお使いください。初期化画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでも初期化画面が表示されることがあります。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

💡 ちょっと一言

- 外付けメディアに保存した画像は付属のソフトウェア「PMB」で取り込むこともできます。

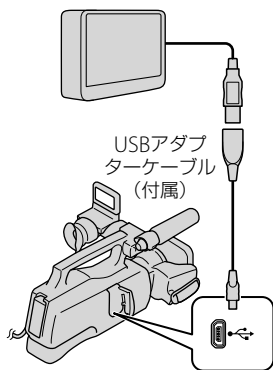
1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブルと外付けメディアをつなぐ。

4 USBアダプターケーブルと本機のψ(USB)端子をつなぐ。

本機に[Create a new Image Database File.]画面が表示されたら、[YES]をタッチしてください。



本機の液晶画面に[EASY COPY]画面が表示されます。

5 本機の液晶画面で[Copy.]をタッチする。

内蔵メモリーで、外付けメディアに保存されていない動画・静止画が保存されます。

- 本機に新たに記録した画像がない場合、この画面は表示されません。

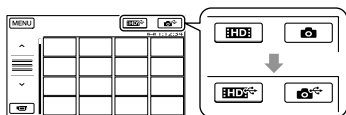
6 終了するには本機の液晶画面で **OK** をタッチする。

④ ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
ハイビジョン画質 (HD) の動画：最大3,999個
標準画質 (STD) の動画：9,999個
静止画：9,999枚×899フォルダ
撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。
- [Cannot save all images to the connected external media. Copy as much as possible?]と表示されたときは、コピー対象として選ばれた画像の一部は外付けメディアに保存されません。新しい外付けメディアを用意して接続すると、残りの画像がコピーされます。

外付けメディアと接続中は

外付けメディアに保存した画像が、本機の液晶画面に表示されます。ビジュアルインデックス画面の動画/静止画切り換えボタンが図のように変わります。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。ビジュアルインデックス画面で **MENU** (メニュー) → [Show others] をタッチしてください。

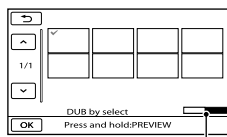
好みの動画・静止画を保存するには

メモリーカードの画像を保存することもできます。

④ ご注意

- メモリーカードに記録した静止画を、日付単位でコピーしたり探したりすることはできません。
- 手順5で [Play without copying.] をタッチする。
外付けメディアのビジュアルインデックス画面が表示されます。
 - MENU** (メニュー) → [Show others] → [MOVIE DUB] (動画のとき) / [PHOTO COPY] (静止画のとき) をタッチする。
 - 本機の画面にしたがって、記録メディアや画像の選択方法を選ぶ。
 - [DUB by select] を選んだときは、保存したい画像をタッチする。
✓が表示されます。

- [DUB by date] を選んだときは、**▲** / **▼** でダビングする日付を選んで、**OK** をタッチしてから、手順⑥に進んでください。



外付けメディアの残量

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。**⏪** で選択画面に戻ります。
- 日付をタッチすると、日付から画像を探せます。

- 本機で **OK** → [YES] → **OK** をタッチする。

外付けメディアの画像を本機で見るとは

- 手順5で [Play without copying.] をタッチする。
外付けメディアの画像がビジュアルインデックス画面で表示されます。


② 見たい画像を選んで再生する(32ページ)。

- 本機をテレビにつないで画像を楽しむこともできます(39ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)の動画は、「Player for AVCHD」を使ってパソコンで再生できます。「Player for AVCHD」を起動し(62ページ)、[設定]で外付けメディアの接続されているドライブを選んでください。

④ ご注意

- 静止画の日付インデックスは表示できません。
- 本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
 - 本機のUSBアダプターケーブルを差し直す
 - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ

接続を終了するには

- ① 外付けメディアのビジュアルインデックス画面で  をタッチする。
- ② USBアダプターケーブルを取り外す。

DVDライター、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどを使ってディスクを作る

ディスクの作りかたを選ぶ

ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

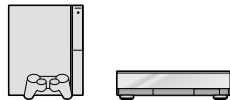
④ ご注意

- 作成されるディスクの種類については57ページをご覧ください。
- ブルーレイディスク作成については69ページをご覧ください。
- ディスクの作成には、DVD-RなどのDVDディスクをご用意ください。
- 外付けメディアへの保存については64ページをご覧ください。

AVCHD規格対応機器

再生機器

- ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー
- プレイステーション3 など



作成機器

- DVDライター DVDDirect Express(67ページ)
- DVDDirect Express以外のDVDライター(69ページ)

作成されるディスクの種類

- AVCHDディスク(ハイビジョン画質(HD))



一般的なDVD機器

再生機器

- DVDプレーヤー
- DVD再生可能なパソコン など



作成機器

- DVDライター DVDirect Express(67ページ)
- DVDirect Express以外のDVDライター(69ページ)
- ディスクレコーダー(70ページ)

作成されるディスクの種類

- 標準画質(STD)のディスク



④ ご注意

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jp.playstation.com/ps3/update/>
- AVCHDディスクは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、AVCHDディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。
- [] [REC MODE]を[HD FX]にして撮影した動画からAVCHDディスクを作成することはできません。ブルーレイディスクまたは外付けメディアに保存してください(62, 64, 69ページ)。

専用DVDライター DVDirect Expressでディスクを作る

別売の専用DVDライター DVDirect Express(DVDダイレクトエクスプレス)を使うと、お好みのディスクを作成したり、作成したディスクを再生したりできます。

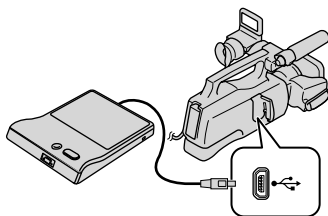
DVDライターの取扱説明書も合わせてご覧ください。

④ ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- 次の未使用のディスクのみ使えます。
 - 12cmDVD-R
 - 12cmDVD+R
- 2層ディスクには対応していません。
- このセクションでは、DVDirect Expressを「DVDライター」と表現します。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(13ページ)。

2 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機の④(USB)端子につなぐ。



他機を使って保存する

3 DVDライターに未使用のディスクを入れて、ディスクトレイを閉じる。

本機に[DISC BURN]画面が表示されます。

4 DVDライターの (ワンタッチディスク) ボタンを押す。

内蔵メモリーに記録した動画のうち、ディスクに保存されていない動画がディスクに書き込まれます。

- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(STD)両方の保存していない動画がある場合は、それぞれ別のディスクに保存されます。

5 1枚のディスクにおさまらないときは、手順3、4を繰り返す。

6 終了するには、本機の液晶画面で → [END] → [EJECT DISC] をタッチしてディスクを取り出す。

7 をタッチしてから、USBケーブルを取り外す。


こだわりダビングをするには

次の場合はこの操作を行ってください。

- 好みの画像を選んでダビングする
- 同じディスクを複数作成する
- ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(STD)に変換してディスクを作成する
- メモリーカードの画像をダビングする


① 手順4で[DISC BURN OPTION]をタッチする。

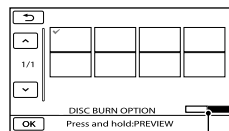
② 動画の記録メディアを選ぶ。

ハイビジョン画質(HD)の動画を選んだ場合は、作成されるディスクの画質を選ぶ画面が本機に表示されます。希望の画質を選び  をタッチしてください。


- ハイビジョン画質(HD)の画像を標準画質(STD)に変換してディスクを作成する場合、選んだ画像の録画時間によって、作成されるディスクの画質が変わります。

③ ディスクに書き込みたい動画をタッチする。

 が表示されます。



ディスク残量

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。  で選択画面に戻ります。
- 日付をタッチすると、日付から画像を探せます。

④ 本機で  → [YES] をタッチする。

- もう一枚同じディスクを作るときには、新しいディスクを入れてから、[CREATE SAME DISC]をタッチしてください。

⑤ 終了するには、本機で[EXIT] → [END]をタッチする。

⑥ USBケーブルを本機から取り外す。

④ ご注意

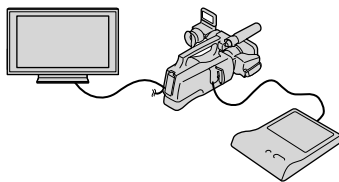
- ディスク作成中は、次の操作をしないでください。
 - 本機の電源を切る
 - USBケーブルやACアダプターを抜く
 - 本機やDVDライターに振動を与える
 - メモリーカードを本機から取り外す

- 本機の画像を削除する前に、作成したディスクを再生してダビングが正しく行われたかを確認してください。
- [Failed.]または[DISC BURN failed.]と本機に表示されたときは、ディスクを入れ換えて、もう一度やり直してください。

🗨️ ちょっと一言

- ワンタッチディスク操作で動画が一枚のディスクに収まらないときは、それぞれのディスクの最後の動画が自動的に分割され、ディスクの容量いっぱいまで保存されます。
- 1枚のディスクに容量いっぱいまでダビングするときの作成時間は、約20分～60分です。シーン数や録画モードによっては、それ以上かかる場合もあります。また、ハイビジョン画質(HD)から標準画質(STD)に変換してディスク作成するときは、実際の動画の録画時間以上に時間がかかります。

DVDライターでディスクを再生するには



- ① ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(13ページ)。
- ② 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機の🔌(USB)端子につなぐ。
 - テレビの画面で動画を楽しむには、本機をテレビにつないでください(39ページ)。
- ③ 作成したディスクをDVDライターに入れる。
本機の液晶画面にディスク内の動画がビジュアルインデックスとして表示されます。

- ④ DVDライターの再生ボタンを押す。
 - 本機の液晶画面で操作することもできます。
- ⑤ 再生が終わったら、本機の液晶画面で[END]→[EJECT DISC]をタッチして、ディスクを取り出す。
- ⑥ **OK**をタッチし、USBケーブルを取り外す。

一般的なDVDプレーヤーでディスクを再生するには

「こだわりダビングをするには」の手順②で、作成するディスクの画質は標準画質(STD)を選んでください。

🗨️ ちょっと一言

- 作成した標準画質(STD)のディスクが他機で再生できない場合は、DVDライターと本機をつないで再生してください。

DVDirect Express以外のDVDライターやソニー製ブルーレイディスクレコーダーでハイビジョン画質(HD)のディスクを作る

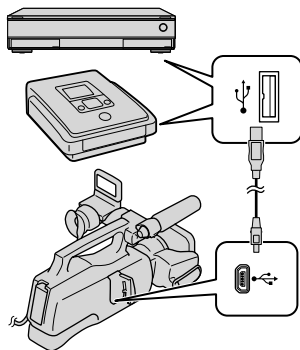
ハイビジョン画質(HD)対応のソニー製DVDライターや、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器と本機を、USBケーブルで接続します。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

📌 ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- ソニー製DVDDirect(DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://www.sony.jp/dvdirect/>

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(13ページ)。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機のψ(USB)端子とDVDライターなどをつなぐ。



[USB SELECT] 画面が表示されます。

- [USB SELECT] 画面が表示されないときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] → **[OTHERS]** の [USB CONNECT] をタッチして表示させてください。

3 本機の画面で、動画の記録メディアを選んでタッチする。

[] USB CONNECT : 内蔵メモリー

[] USB CONNECT : メモリーカード

4 接続先機器で録画操作を行う。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ディスク作成が終わったら、本機の画面で [END] → [YES] をタッチする。

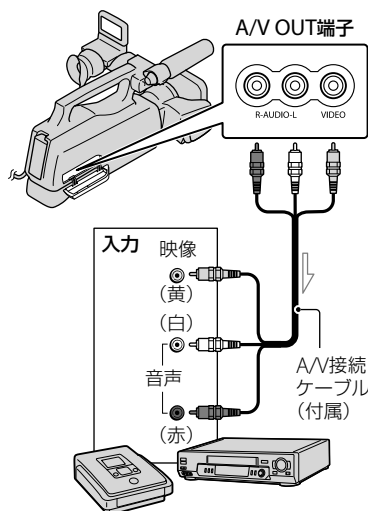
6 USBケーブルを取り外す。

レコーダーなどで標準画質 (STD) のディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、ソニー製 DVDirect Express以外のDVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへダビングできます。次図の方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⚠ ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- ハイビジョン画質 (HD) で記録された画像は、標準画質 (STD) でダビングされます。



信号の流れ

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(付属)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。


4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

⚡ ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [GENERAL SET]の[OUTPUT SETTINGS] → [DISP OUTPUT] → [LCD PANEL] (お買い上げ時の設定) → **OK** → **⏪** → **✖** をタッチしてください。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [PLAYBACK]の[PLAYBACK SET] → [DATA CODE] → お好みの設定 → **OK** → **⏪** → **✖** をタッチしてください。また、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [GENERAL SET]の[OUTPUT SETTINGS] → [DISP OUTPUT] → [V-OUT/PANEL] → **OK** → **⏪** → **✖** をタッチしてください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、**MENU** (メニュー) → [Show others] → [GENERAL SET]の[OUTPUT SETTINGS] → [TV TYPE] → [4:3] → **OK** → **⏪** → **✖** をタッチしてください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

メニューを使いこなそう


メニュー操作により、撮影に便利な機能を使ったり、各種設定を変更したりできます。メニューを使いこなすことで、「撮る」「見る」「保存する」をさらに楽しめます。本機のメニューは大きく8つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。


 MANUAL SETTINGS(場面や状況などに合わせる設定) → 77ページ


 SHOOTING SET(好みの撮影をするときの設定) → 81ページ

 PHOTO SETTINGS(静止画撮影に関する設定) → 84ページ

 PLAYBACK(再生に関する設定) → 85ページ

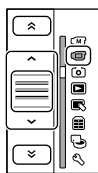
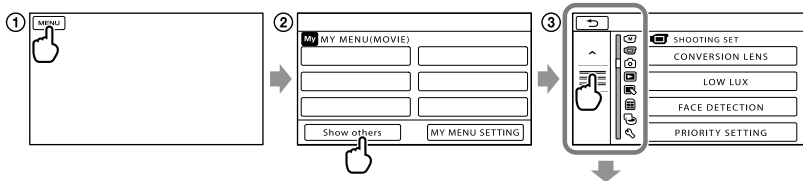
 EDIT(編集に関する設定) → 87ページ


 OTHERS(いろいろな設定) → 87ページ

 MANAGE MEDIA(メディアに関する設定) → 88ページ

 GENERAL SET(その他の設定) → 89ページ

メニューの操作方法



- ▲ / ▼ をタッチするとカテゴリーごとに移動します。
- ▲ / ▼ をタッチすると4項目ごとに移動します。
 - タッチしたままずらすと画面をスクロールできます。
 - 選択中のカテゴリーのアイコンがオレンジ色で表示されます。
 -  が表示されているときにタッチすると、MY MENUに戻ります。

- 1 **MENU** (メニュー) をタッチする。
- 2 MY MENU画面で [Show others] をタッチする。
 - MY MENUについては次のページをご覧ください。
- 3 画面左の中央部をタッチして、画面表示を切り換える。
- 4 設定を変更するメニュー項目にタッチする。
- 5 設定を変更して **OK** をタッチする。
メニューを終了するには、**X** をタッチします。
前のメニューに戻るには、**←** をタッチします。
 - メニューによっては、**OK** が表示されないものもあります。

⚠️ ご注意

- 本機の状態によっては、設定できないメニュー項目があります。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

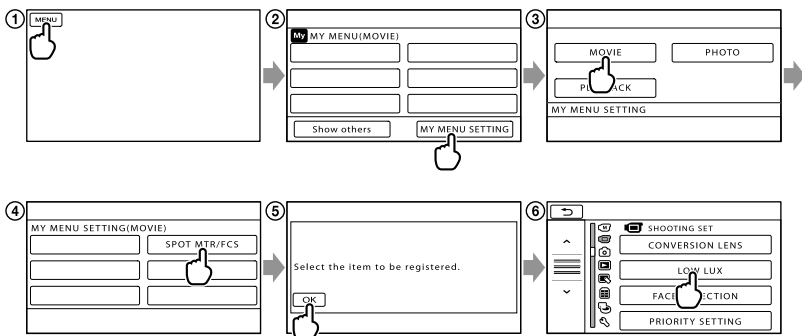
💡 ちょっと一言

- 設定したメニュー項目の内容によって、本機の撮影(動画・静止画)/再生モードも切り替わります。

MY MENUに登録して使う

よく使うメニュー項目を、MY MENUに登録することで簡単に利用できます。動画/静止画/再生のそれぞれのMY MENUに6つのメニュー項目を登録できます。

例：動画のマイメニュー[SPOT MTR/FCS]を削除して[LOW LUX]を登録



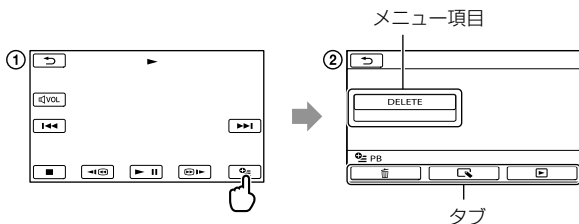
- ① **MENU** (メニュー) をタッチする。
- ② **[MY MENU SETTING]** をタッチする。
- ③ **[MOVIE]** をタッチする。
- ④ **[SPOT MTR/FCS]** をタッチする。
- ⑤ **OK** をタッチする。
- ⑥ **☰** (SHOOTING SET) カテゴリーの**[LOW LUX]** をタッチする。
- ⑦ MY MENUが表示されたら、**✕** をタッチする。

💡 ちょっと一言

- 外付けメディア接続中には、専用のMY MENUが表示されます(65ページ)。

☰ オプションメニューを使う

オプションメニューは、パソコンの右クリックのような役割のメニューです。画面右下に **☰** が表示されているとき、オプションメニューが使えます。**☰** をタッチすると、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。



- ① **☰** (オプション) をタッチする。
- ② タブ → 希望のメニュー項目の順にタッチして設定を変更する。
- ③ 設定が終わったら、**OK** をタッチする。

⚡ ご注意







- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。
- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。(タブが表示されないこともあります。)
- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧




(MANUAL SETTINGS) カテゴリー

SCENE SELECTION	77
WHITE BAL.	77
SPOT MTR/FCS	78
SPOT METER	78
SPOT FOCUS	79
EXPOSURE	79
FOCUS	79
TELE MACRO	79
AE SHIFT	80
WB SHIFT	80
SMTH SLW REC	80

(SHOOTING SET) カテゴリー






 SET	27
 REC MODE	28
GUIDEFAME	81
 STEADYSHOT	81
CONVERSION LENS	81
LOW LUX	82
FACE DETECTION	82
PRIORITY SETTING	82
SMILE DETECTION	82
SMILE SENSITIVITY	83
AUDIO REC SET	
MICREF LEVEL	83
OTHER REC SET	
 DIGITAL ZOOM	83
AUTO BACK LIGHT	83
RING SETTING	83
 X.V.COLOR	83
 WIDE SELECT	84

(PHOTO SETTINGS) カテゴリー









 SELF-TIMER	84
 IMAGE SIZE	84
 STEADYSHOT	85

FILE NO. 85

(PLAYBACK) カテゴリー

VISUAL INDEX	32
VIEW IMAGES	
DATE INDEX	35
 FILM ROLL	35
 FACE	36
PLAYLIST	51
 HIGHLIGHT	36
 SCENARIO	37
PLAYBACK SET	
 SET	27
DATA CODE	85

(EDIT) カテゴリー

DELETE	
 DELETE	44
 DELETE	44
 SCENARIO ERASE	
ERASE	37
ERASE ALL	37
PROTECT	
 PROTECT	45
 PROTECT	45
 DIVIDE	46
PHOTO CAPTURE	47
MOVIE DUB	
DUB by select	49
DUB by date	49
 DUB ALL/  DUB ALL	49
PHOTO COPY	
COPY by select	49
COPY by date	49

PLAYLIST EDIT

ADD/ ADD	50
ADD by date/ ADD by date	51
ERASE/ ERASE	51
ERASE ALL/ ERASE ALL	51
MOVE/ MOVE	52

(OTHERS) カテゴリー

USB CONNECT

USB CONNECT	69
USB CONNECT	69
DISC BURN	59

BATTERY INFO	87
--------------	----

(MANAGE MEDIA) カテゴリー

MEDIA SETTINGS

MOVIE MEDIA SET	19
PHOTO MEDIA SET	19

MEDIA INFO	88
------------	----

MEDIA FORMAT	88
--------------	----

INT. MEMORY	88
-------------	----

MEMORY CARD	88
-------------	----

REPAIR IMG.DB F.

INT. MEMORY	96,100
-------------	--------

MEMORY CARD	96,100
-------------	--------

(GENERAL SET) カテゴリー

SOUND/DISP SET

VOLUME	34,89
--------	-------

BEEP	89
------	----

LCD BRIGHT	89
------------	----

LCD BL LEVEL	89
--------------	----

LCD COLOR	89
-----------	----

DISPLAY SET	89
-------------	----

OUTPUT SETTINGS

TV TYPE	90
---------	----

COMPONENT	90
-----------	----

HDMI RESOLUTION	90
-----------------	----

DISP OUTPUT	91
-------------	----

CLOCK/ LANG

CLOCK SET	15
-----------	----

AREA SET	91
----------	----

SUMMERTIME	91
------------	----

LANGUAGE SET	91
--------------	----

POWER SETTINGS

A.SHUT OFF	91
------------	----

OTHER SETTINGS

CALIBRATION	111
-------------	-----

REC LAMP	91
----------	----

M MANUAL SETTINGS

(場面や状況などに合わせ る設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

SCENE SELECTION

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶ AUTO

シーンセレクションを使わずに、平均的な画質に調整する。

TWILIGHT* (🌆)

暗い雰囲気損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。



SUNRISE&SUNSET* (🌅)

日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。



FIREWORKS* (🎆)

打ち上げ花火をきれいに撮影する。



LANDSCAPE* (🏞️)

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。



PORTRAIT (👤)

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



SPOTLIGHT** (👤)

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



BEACH** (🏖️)

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。



SNOW** (❄️)

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。



- * 遠景のみにピントが合うように設定されます。
- ** 近くのものにピントが合わないよう設定されます。

🔔 ご注意

- [SCENE SELECTION]を設定すると、[WHITE BAL.]の設定が解除されます。

WHITE BAL.

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。



▶ AUTO

自動調節される。

OUTDOOR*(🌳)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

INDOOR(室内)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ONE PUSH(ワンタッチ)

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

- ① [ONE PUSH] をタッチする。
- ② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
- ③ [ONE PUSH] をタッチする。
[ONE PUSH] が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。

🔔 ご注意

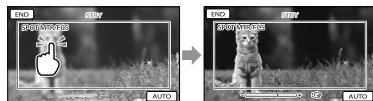
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[AUTO] に設定するか [ONE PUSH] の手順で色合いを調節してください。
- [ONE PUSH] 設定時の [ONE PUSH] の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- [ONE PUSH] が設定できなかった場合、[ONE PUSH] がゆっくり点滅します。
- [ONE PUSH] で設定するとき、[OK] をタッチしても [ONE PUSH] が点滅する場合は、[AUTO] に設定してください。
- [WHITE BAL.] を設定すると [SCENE SELECTION] が [AUTO] になります。

💡 ちょっと一言

- [AUTO] でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになります。
- [ONE PUSH] 設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び [ONE PUSH] の手順を行ってください。

SPOT MTR/FCS

被写体に合わせて、明るさとピントを同時に合わせます。[SPOT METER] (78ページ)と[SPOT FOCUS] (79ページ)が同時に使えます。



画面枠内の明るさとピントを合わせたい被写体にタッチする。

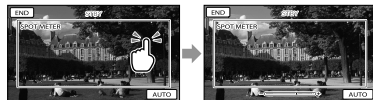
自動調節に戻すには、[AUTO] をタッチする。

🔔 ご注意

- [EXPOSURE] と [FOCUS] は、自動的に [MANUAL] になります。

SPOT METER (フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。



画面枠内の明るさを合わせたい被写体にタッチする。

自動調節に戻すには、[AUTO] をタッチする。

🔔 ご注意

- [EXPOSURE] は自動的に [MANUAL] になります。

SPOT FOCUS



画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。



画面枠内のピントを合わせたい被写体にタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、[AUTO] をタッチする。

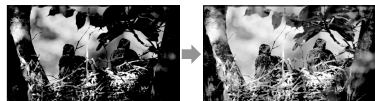
⚡ ご注意

- [FOCUS] が自動的に [MANUAL] になります。

EXPOSURE



画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。



- / + をタッチして明るさを調節する。

自動調節に戻すには、[AUTO] をタッチする。

💬 ちょっと一言

- カメラコントロールリング (RING) で、手動設定を調節することもできます (30ページ)。

FOCUS



手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。



☒ (近くにピント合わせ) / **☒** (遠くにピント合わせ) をタッチしてピントを調節する。

自動ピント合わせに戻すには、[AUTO] をタッチする。

⚡ ご注意

- マニュアルに設定すると、**☒** が表示されます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

💬 ちょっと一言

- それ以上近くにピントを合わせられないときは **☒** が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは **☒** が表示されます。
- ピントは、はじめにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します(別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません)。- ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
- フォーカスを手動調節したとき
- カメラコントロールリング (RING) で、手動設定を調節することもできます (30ページ)。

TELE MACRO



背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ OFF

近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

ON(TV)

ズーム(26ページ)が自動で望遠(T側)になり、約25cmまでの近接撮影ができる。



⚡ ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手でピントを合わせてください([FOCUS]、79ページ)。

AE SHIFT

— (暗く) / **+** (明るく)で露出をお好みに合わせて調節できます。AEシフトを有効にすると、**AS**と設定した数値が表示されます。

💡 ちょっと一言

- 白い被写体や逆光のときは **+**、黒い被写体や暗い場所のときは **—** をタッチすることをおすすめします。
- [EXPOSURE]が[AUTO]のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- カメラコントロールリング(RING)で、手動で設定を調節することもできます(30ページ)。

WB SHIFT(ホワイトバランスシフト)

— / **+** でホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。WBシフトを有効にすると、**WS**と設定した数値が表示されます。

💡 ちょっと一言

- 数値を下げると画像が青味がかかり、数値を上げると赤味がかかります。
- カメラコントロールリング(RING)で、手動で設定を調節することもできます(30ページ)。

SMTH SLW REC



通常撮影では見ることができない高速な動作や現象を、なめらかスローモーション映像として撮影します。

[SMTH SLW REC]画面でSTART/STOPボタンを押す。

約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。

[Recording...]が消えると記録が完了します。

解除するには、**⏪** をタッチします。

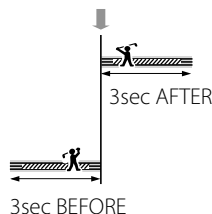
設定を変更するには

⚙ (オプション)をタッチして変更したい設定を選ぶ。

[TIMING]

START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択します(お買い上げ時の設定は[3sec AFTER])。

START/STOPボタンを押した時点



⚡ ご注意

- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。

SHOOTING SET

(好みの撮影をするときの設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

HD/STD SET

27ページをご覧ください。

REC MODE

28ページをご覧ください。

GUIDEFRAAME

フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。フレームは記録されません。

▶ OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

ガイドフレームを表示する。



🗨️ ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- ガイドフレームの外側の枠は、フルピクセル表示機能のないテレビの表示エリアを表しています。
- ファインダー使用時はガイドフレームの外側の枠は表示されません。

STEADYSHOT

手ブレを補正して撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF] (👎)にすると自然な画像になります。

▶ ACTIVE

強い手ブレ補正効果を得る。

STANDARD

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

OFF (👎)

手ブレ補正機能を使わない。

⚡️ ご注意

- 【STEADYSHOT】の設定を変更すると、画角が変わります。
- 【STEADYSHOT】が[ACTIVE]以外の場合は、12倍までの光学ズームができます。

CONVERSION LENS

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

▶ OFF

コンバージョンレンズを使わない。

WIDE CONVERSION (W)

ワイドコンバージョンレンズを使う。

TELE CONVERSION (T)

テレコンバージョンレンズを使う。

LOW LUX



薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ OFF

LOW LUX機能を使わない。

ON (📷)

LOW LUX機能を使う。

FACE DETECTION



人物の顔を検出して、顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。また、ハイビジョン画質(HD)のときはさらに、顔部分が細密な画像になるように調整します。

▶ ON

顔検出する。

OFF (📷^{OFF})

顔検出しない。

🔔 ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。

💡 ちょっと一言

- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
 - 顔をカメラ正面に向ける
- 検出した顔はフェイスインデックスに登録されます。ただし、すべてが登録されるわけではありません。また、フェイスインデックスに登録できる数には限りがあります。フェイスインデックス画面で再生するには36ページをご覧ください。

PRIORITY SETTING



顔検出やスマイルシャッターで優先する被写体を選びます。選んだ被写体にあわせて、フォーカス/色/露出を自動的に調節します。

▶ AUTO

大人、子どもの区別なく顔を検出します。

CHILD PRIORITY

子どもの顔を優先的に検出します。

ADULT PRIORITY

大人の顔を優先的に検出します。

🔔 ちょっと一言

- 液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります(29ページ)。

SMILE DETECTION



笑顔を検出すると自動で静止画を撮影します(スマイルシャッター)。

DUAL CAPTURE (📷)

動画録画中のみ笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影する。

ALWAYS ON (📷)

静止画撮影可能状態時に笑顔を検出して自動的に静止画を撮影する。

▶ OFF

笑顔を検出しなため、静止画を自動撮影しない。

🔔 ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- [DUAL CAPTURE]を選択したとき、動画撮影スタンバイ中は、撮影画面上に📷が表示されます。動画撮影を開始すると、撮影画面上のアイコンが📷に切り替わります。

SMILE SENSITIVITY



自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。

HIGH

ほほえみ程度で検出する。

▶ MEDIUM

普通の写真で検出する。

LOW

大笑いで検出する。

AUDIO REC SET



■ MICREF LEVEL

録音時のマイクレベルを選べます。

▶ NORMAL

周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

LOW(🔊)

周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[LOW]を選ぶ。(日常の会話の録音などには適していません。)

OTHER REC SET



■ 📷 DIGITAL ZOOM

デジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。



[160×]を選ぶと表示されます。

▶ OFF

17倍ズーム

160×

最大160倍までのデジタルズーム

🔔 ご注意

- ・ [📷STEADYSHOT]が[ACTIVE]以外の場合は、12倍光学ズームになります。

■ AUTO BACK LIGHT

自動で逆光補正をします。

▶ ON

自動で逆光補正を行う。

OFF

逆光補正を行わない。

■ RING SETTING

カメラコントロールリング(RING)に割り当てる項目を選択できます。詳しくは30ページをご覧ください。

■ 📷 X.V.COLOR

より広い色域で記録できます。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

▶ OFF

通常の色域で撮影する。

ON((COLOR))

x.v.Colorで撮影する。

🔔 ご注意

- ・ x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは、あらかじめ[ON]にして撮影してください。
- ・ [ON]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。

PHOTO SETTINGS

(静止画撮影に関する設定)

- 次のとき [X.V.COLOR] は設定できません。
 - 標準画質 (STD) で記録するとき
 - 動画を撮影中

■ WIDE SELECT

標準画質 (STD) で記録するときに、つなぐテレビの画像の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ 16:9 WIDE

ワイド (16:9) テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3 (4:3)

4:3 テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

⚡ ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて [TV TYPE] を正しく設定してください (90ページ)。

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

▶ はお買い上げ時の設定です。

SELF-TIMER

PHOTO ボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ OFF

セルフタイマーを解除する。

ON (☺)

セルフタイマーで撮影する。撮影を中止するには [RESET] をタッチする。

IMAGE SIZE

撮影する静止画のサイズを選びます。

▶ 7.1M (7.1M)

鮮明な画像を撮影する (3,072 × 2,304)。

5.3M (5.3M)

鮮明な画像をワイド (16:9) で撮影する (3,072 × 1,728)。

1.9M (1.9M)

比較的きれいな画像をたくさん撮影する (1,600 × 1,200)。


VGA (0.3M) (VGA)

たくさんの画像を撮影する (640 × 480)。

⚡ ご注意

- 設定した画像サイズは、(静止画) ランプ点灯時に有効です。
- 撮影可能枚数は104ページをご覧ください。

STEADYSHOT

手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売り)を利用するときは、[OFF]
()にすると自然な画像になります。

▶ ON

手ブレ補正機能を使う。

OFF()

手ブレ補正機能を使わない。

FILE NO.

静止画のファイル番号の付けかたを選び
ます。

▶ SERIES

静止画のファイル番号を連続して付ける。
撮影するたびに画像のファイル番号が大
きくなります。
メモリーカードを取り換えた場合も、
ファイル番号は連続して付きます。

RESET

記録メディアに存在している最大ファ
イル番号の次の番号を付ける。
メモリーカードを取り換えた場合は、メ
モリーカードごとにファイル番号が付き
ます。

PLAYBACK (再生に関する設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧
ください。

VISUAL INDEX

32ページをご覧ください。

VIEW IMAGES

■ DATE INDEX

35ページをご覧ください。

■ FILM ROLL

35ページをご覧ください。

■ FACE

36ページをご覧ください。

PLAYLIST

51ページをご覧ください。

HIGHLIGHT

36ページをご覧ください。

SCENARIO

37ページをご覧ください。

PLAYBACK SET

■ / SET

27ページをご覧ください。

■ DATA CODE

撮影時に自動的に記録された情報(日付
時刻データやカメラデータ)を再生時に
確認できます。

▶ OFF

日付時刻データやカメラデータを表示しない。

DATE/TIME

記録した画像の日付・時刻データを表示する。

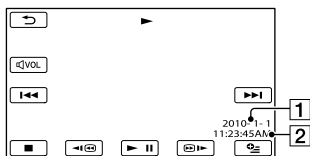
CAMERA DATA

記録した画像のカメラデータを表示する。

🗨️ ちょっと一言

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- 記録メディアの状態によっては、[-- --]と表示されます。

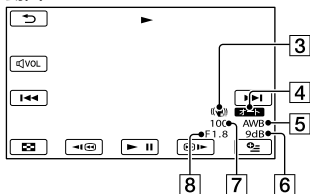
DATE/TIME



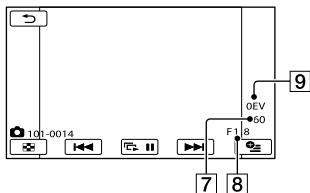
- 1 日付
- 2 時刻

CAMERA DATA

動画



静止画



- 3 手ブレ補正切
- 4 明るさ調節
- 5 ホワイトバランス
- 6 ゲイン
- 7 シャッタースピード
- 8 絞り値
- 9 露出

EDIT (編集に関する設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

DELETE

44ページをご覧ください。

SCENARIO ERASE

37ページをご覧ください。

PROTECT

45ページをご覧ください。

DIVIDE

46ページをご覧ください。

PHOTO CAPTURE

47ページをご覧ください。

MOVIE DUB

48ページをご覧ください。

PHOTO COPY

49ページをご覧ください。

PLAYLIST EDIT

50ページをご覧ください。

OTHERS (いろいろな設定)

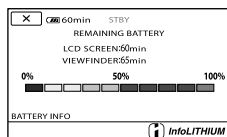
メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

USB CONNECT

70ページをご覧ください。

BATTERY INFO


装着しているバッテリー残量の目安を確認できます。



ご注意

- バッテリー残量が999分を超えている場合は、液晶画面には>999minと表示されます。

終了するには

 をタッチする。

MANAGE MEDIA

(メディアに関する設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

MEDIA SETTINGS



19ページをご覧ください。

MEDIA INFO



動画の記録メディアの録画モードごとの録画可能時間や、記録メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

終了するには

✕ をタッチする。

⚡ ご注意

- 管理ファイル用領域があるため、[MEDIA FORMAT] (88ページ) を行っても、使用領域の表示は0%になりません。

🗨️ ちょっと一言

- [MOVIE MEDIA SET] (19ページ) で設定している記録メディアの情報が表示されます。必要に応じて記録メディアを切り換えてください。

MEDIA FORMAT (初期化)



初期化とはメディア内の動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

初期化する記録メディアを選択し、[YES] → [YES] → **OK** をタッチする。

⚡ ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- 大切な画像は保存してから[MEDIA FORMAT]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

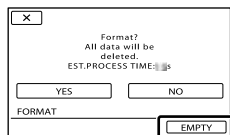
- [Executing...]が表示されているときは、ボタンを操作したり、メモリーカードを取り出ししたり、ACアダプターを外したりしないでください(メモリーカードの初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します)。

内蔵メモリー上のデータを復元しにくくするには

本機の内蔵メモリーに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。

本機を廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐために[EMPTY]を行うことをおすすめします。

[MEDIA FORMAT]画面で内蔵メモリーを選択し、[EMPTY]をタッチしてください。



⚡ ご注意

- ACアダプターを使って電源をコンセントからとってください。ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、[EMPTY]を行うことはできません。
- 大切な画像データはパソコンまたは他機に保存してから、[EMPTY]を行ってください。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データの消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- データの消去にかかる時間は約6分です。
- [Executing...]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[MEDIA FORMAT]または[EMPTY]を実行して完了させてください。

REPAIR IMG.DB F.



96, 100ページをご覧ください。

🔧 GENERAL SET (その他の設定)

メニューの操作方法は72ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

SOUND/DISP SET(音やパネルの設定)



■ VOLUME

⏪ / ⏩ をタッチして音量を調節できます。

■ BEEP

ON

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

▶ OFF

メロディ、シャッター音を鳴らさない。

■ LCD BRIGHT

⏪ / ⏩ をタッチして液晶画面の明るさを調節できます。

💡 ちょっと一言

- 録画される画像には影響ありません。

■ LCD BL LEVEL

液晶画面のバックライトの明るさを選びます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

⚡️ ご注意

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

💡 ちょっと一言

- 録画される画像には影響ありません。

■ LCD COLOR

⏪ / ⏩ をタッチして液晶画面の濃さを調節できます。

💡 ちょっと一言

- 録画される画像には影響ありません。

■ DISPLAY SET

液晶画面に画面表示が表示される時間を設定します。

AUTO1

画面表示を約3秒間だけ表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示する。

▶ AUTO2

画面表示を約3秒間だけ表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示しない。

ON

画面表示を常時表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示しない。

💡 ちょっと一言

- 次の操作をすると、画面表示が再表示されます。
 - 本機の電源を入れたとき
 - 液晶画面をタッチしたとき(液晶横録画/ズームボタンをのぞく)
 - 動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えたとき

OUTPUT SETTINGS(テレビ につないだときの出力設定)



■ TV TYPE

つなぐテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

▶ 16:9

ワイドテレビで再生するときを選ぶ。次のように再生される。

ワイド(16:9)で撮 4:3で撮影した画像
影した画像



4:3

4:3テレビで再生するときを選ぶ。次のように再生される。

ワイド(16:9)で撮 4:3で撮影した画像
影した画像



⚡ ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で記録するときの横縦比は16:9になります。
- ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TV TYPE]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の横縦比に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ COMPONENT

コンポーネント入力端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i

480i対応のテレビとつなぐときに選ぶ。

▶ 1080i /480i

1080i/480i対応のテレビとつなぐときに選ぶ。

■ HDMI RESOLUTION

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

HD CONTENTS

ハイビジョン画質(HD)で記録された映像の出力解像度を設定します。

▶ AUTO

通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。

1080p

1080pで出力する。

1080i

1080iで出力する。

720p

720pで出力する。

480p

480pで出力する。

STD CONTENTS

標準画質(STD)で記録された映像の出力解像度を設定します。

▶ AUTO

通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。

480p

480pで出力する。

480i

480iで出力する。

■ DISP OUTPUT

画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

カウンターなどの画面表示を液晶画面/
ファインダーに出す。

V-OUT/PANEL

カウンターなどの画面表示をテレビ画面、
液晶画面、ファインダーに出す。

CLOCK/🗓️ LANG (日付・言語な どの設定)

■ CLOCK SET

15ページをご覧ください。

■ AREA SET

時計を止めることなく時差補正ができません。海外で使用するとき現地時刻に合わせることができます。「世界時刻表」(107ページ)をご覧ください。

■ SUMMERTIME

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で [SUMMERTIME] を [ON] にすると、時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムに設定しない。

ON

サマータイムに設定する。

■ 🗨️ LANGUAGE SET

液晶画面の操作で言語を選ぶことができます。

POWER SETTINGS

■ A.SHUT OFF

何も操作しない状態で約30分以上続けると、自動的に電源が切れるように設定できません。

ON

自動的に電源が切れる。

▶ OFF

自動的に電源は切れない。

🔔 ご注意

- [A.SHUT OFF] はビジュアルインデックスなどの再生待機画面でのみ効果があります。

OTHER SETTINGS

■ CALIBRATION

111ページをご覧ください。

■ REC LAMP

撮影中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

▶ ON

点灯する。

OFF

点灯しない。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

① 92～102ページの項目をチェックし、本機を点検する。

② 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

③ RESETボタン(119ページ)を先の細いもので押してから電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に記録メディア内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

- 全体操作 92ページ
- バッテリー・電源 93ページ
- 液晶画面・ファインダー 93ページ
- メモリーカード 94ページ
- 撮影 94ページ
- 再生 95ページ
- 他機でのメモリーカード再生 96ページ

- 本機での編集 96ページ
- テレビでの再生 97ページ
- ダビング・外部機器接続 97ページ
- パソコンとの接続 97ページ
- 同時に使えない機能の一例 98ページ

全体操作

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(12ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(12ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(119ページ)を先のとがったもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

メニュー項目の設定が変わっている。

- [TELE MACRO] [■SELF-TIMER]は、動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなるがありますが、故障ではありません。

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- [A.SHUT OFF]を[ON]に設定している場合、再生時、インデックス表示状態で操作しない状態が約30分以上続くと、自動的に電源が切れる(自動電源オフ)。**[A.SHUT OFF]**の設定を変更する(91ページ)か、もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する(12ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 電源スイッチをOFFにする(12ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(12ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(12ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる、と、充電できないことがあります(109ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(12ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電

が不十分なため、故障ではありません。

- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(110ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(110ページ)。

液晶画面・ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります(98ページ)。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。

タッチパネルのボタンが操作できない、または正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(CALIBRATION)する(111ページ)。

タッチパネルのボタンがすぐに消えてしまう。

- [DISPLAY SET]を[ON]にする(89ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(17ページ)。

液晶画面が点灯しない

- LCD/EVF-EVF切り換えスイッチを「LCD/EVF」にする。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(88ページ)。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。



データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(109ページ)。

撮影


「メモリーカード」(94ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、 (動画) ランプまたは  (静止画) ランプを点灯させる(22ページ)。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいます。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。

- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する(44ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(103、104ページ)。不要な画像を削除する(44ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- [SMTH SLW REC]を設定しているときは、静止画を記録できません。
- [ REC MODE]を[HD FX]に設定しているときは、動画記録中に静止画の撮影はできません。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります(103ページ)。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比(ワイド/4:3)が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- [FOCUS]を[AUTO]にする(79ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(79ページ)。

手ブレ補正ができない。

- [STEADYSHOT]を[ACTIVE]または[STANDARD]、[STEADYSHOT]を[ON]にする(81、85ページ)。
- [STEADYSHOT]が[ACTIVE]または[STANDARD]、[STEADYSHOT]が[ON]になっても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影

条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [STEADYSHOT]を[ACTIVE]以外に設定してください(81ページ)。

[LCD BL LEVEL]を調節できない。

- ACアダプターを使用しているときは、[LCD BL LEVEL]は調節できません。

撮影モードを切り換えると、ズーム倍率が変わる。

- 静止画撮影モードでは、デジタルズームは使えません。

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを抜いた場合、音声が正しく記録されない場合があります。
- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。
- モノラル端子のマイクをつなぐと、Lチャンネルのみ記録されます。

再生

画像を再生できない。


- 再生したい画像が入っている記録メディアを選ぶ(19ページ)。

- 再生したい画像の記録画質(ハイビジョン/標準)を選ぶ(27ページ)。
- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。




静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に液晶画面右上の記録メディアアイコン点灯中や、アクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて  が表示されることがあります。

ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。  (メニュー) → [Show others] →  [MANAGE MEDIA] の [REPAIR IMG.DB F.] → 記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は  が表示されている画像を削除する(44ページ)。

音声小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする(34ページ)。
- [MICREF LEVEL](83ページ)を[LOW]にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。

ます。

- [SMTH SLW REC]で、音声は記録できません。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません(3ページ)。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

プレイリストに追加できない。

- 記録メディアの空き容量がない。
- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(STD)で99個までしか動画を追加できません。プレイリストから不要な動画を消去する(51ページ)。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトをかけた動画は分割できません。

動画から静止画を作成できない

- 静止画を記録する記録メディアの容量が足りない。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声がでない。

- コンポーネントビデオケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて [COMPONENT] を正しく設定する (90ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ (39ページ)。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルを使用して、テレビやプロジェクター、AVアンプにつないでも、画像や音声が再生されない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合や、画像のちらつきが発生した場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の液晶画面は記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。
- [GUIDEFAME] (81ページ) の外側の枠を目安に撮影する。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド (16:9) で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[TV TYPE] を正しく設定して再生する (90ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド (16:9) で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブル (別売) を使ったのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながっていない。他機の入力端子へつながっているか確認する (70ページ)。

パソコンとの接続

「PMB」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する。

「PMB」が正しく動作しない。





- 「PMB」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながっている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

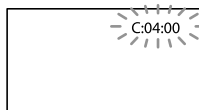
同時に使えない機能の一例

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
おまかせオート	[SMTH SLW REC]
[FACE DETECTION]	[SMTH SLW REC]、  [DIGITAL ZOOM]、[SPOT MTR/FCS]、[SPOT METER]、[SPOT FOCUS]、[EXPOSURE]、[FOCUS]、[TWILIGHT]、[SUNRISE&SUNSET]、[FIREWORKS]、[LANDSCAPE]、[SPOTLIGHT]、[BEACH]、[SNOW]、[WHITE BAL]、  [SELF-TIMER]
[PRIORITY SETTING] / [SMILE DETECTION] / [SMILE SENSITIVITY]	[SMTH SLW REC]、  [DIGITAL ZOOM]、[SPOT MTR/FCS]、[SPOT METER]、[SPOT FOCUS]、[EXPOSURE]、[FOCUS]、[TWILIGHT]、[SUNRISE&SUNSET]、[FIREWORKS]、[LANDSCAPE]、[SPOTLIGHT]、[BEACH]、[SNOW]、[WHITE BAL]、  [SELF-TIMER]
[SCENE SELECTION]	[SMTH SLW REC]、[LOW LUX]、[TELE MACRO]

自己診断・警告表示

液晶画面またはファインダーに次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



C: (またはE:) □□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリーLシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーLシリーズを使う(109ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(12ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 92ページの手順②からお試ください。

(バッテリー残量に関する警告)

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

(温度の上昇関連の警告)

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅


- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

(メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、20ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(20ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存(バックアップ)してから(66ページ)、メモリーカードを初期化する(88ページ)。
- 管理ファイルが壊れている。 **MENU** (メニュー) → [Show others] →  [MANAGE MEDIA] の [REPAIR IMG,DB F.] → 記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- メモリーカードが壊れている。

(メモリーカード初期化関連の警告)

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(88ページ)。

(非対応メモリーカード関連の警告)

- 本機では使えないメモリーカードを入れた(20ページ)。

(メモリーカード誤消去防止に関する警告)

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。
- メモリーカードの誤消去防止スイッチが有効になっている。

(手ブレ警告)

- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

(静止画撮影に関する警告)

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。
- [REC MODE] を [HD FX] に設定しているときは、動画記録中に静止画の撮影はできません。

(スマイルシャッターに関する警告)

- スマイルシャッターが使用できない状態になっている。

ちょっと一言

- [BEEP] が [ON] に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(89ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録メディア

🔊 Internal memory format error.

- 本機の内蔵メモリーが、出荷時と異なるフォーマットになっている。[MEDIA FORMAT] (88ページ)を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

Data error.

- 本機の内蔵メモリーへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

The Image Database File is damaged. Do you want to create a new file?

HD movie management information is damaged. Create new information?

- 管理ファイルが破損している。[YES]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機の記録メディアにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります(画像ファイルは壊れません)。新規作成後[REPAIR IMG.DB F.]を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合もあります。それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーしてください。

There is no Image Database File. Movies cannot be recorded or played. Create a new file?

- 動画管理情報がないため、撮影や再生ができません。[YES]をタッチすると管理情報が新規作成され、動画の撮影・再生ができるようになります。
- 静止画の撮影は可能です。

There is no HD movie management information. Create new information?

- ハイビジョン画質(HD)の動画管理情報がないため、撮影や再生ができません。[YES]をタッチすると管理情報が新規作成され、ハイビジョン画質(HD)の動画の撮影・再生ができるようになります。
- 標準画質(STD)の動画や静止画の撮影は可能です。

Inconsistencies found in Image Database File. Do you want to repair the Image Database File? The Image Database File is damaged. Do you want to repair the Image Database File? Inconsistencies found in Image Database File. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the Image Database File?

- 管理ファイルが破損しているため、動画・静止画撮影ができません。[YES]をタッチして修復する。
- メモリーカードへの静止画撮影は可能です。

Buffer overflow

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直してください(88ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録速度に十分でない。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください。(20ページ)。

Recovering data.

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

🔍 Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

🔍 This memory card is not formatted correctly.

- メモリーカードを本機で初期化する(88ページ)。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

🔍 Still picture folder is full. Cannot record still pictures.

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(88ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(20ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(20ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

その他

No further selection is possible.

- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(STD)で99個までしか動画を追加できません。
 - 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除
 - ダビング
 - コピー
 - ハイビジョン画質(HD)の動画のプレイリスト編集
-

Data protected.

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間・枚数について

「HD」はハイビジョン画質、「STD」は標準画質を表しています。

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

バッテリー型名 画質	連続撮影時		実撮影時	
	HD	STD	HD	STD
NP-F570 (付属)	260	350	135	185
NP-F770	540	720	285	380
NP-F970	805	1080	425	570

- それぞれの時間は、[] REC MODE]が次の条件によるものです。

HD : HD FH

STD : HQ

- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影再生の切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

バッテリー型名 画質	(単位：分)	
	HD	STD
NP-F570 (付属)	420	540
NP-F770	850	1095
NP-F970	1295	1660
	1295	1750

- 上段：液晶画面の電源を入れて撮影したとき
- 下段：液晶画面の電源を切ってファインダーを使用したとき

動画の撮影可能時間の目安

内蔵メモリー

ハイビジョン画質(HD)のとき

録画モード	録画時間
[HD FX]	6時間5分(6時間5分)
[HD FH]	7時間55分(7時間55分)
[HD HQ]	15時間50分(11時間25分)
[HD LP]	26時間55分(21時間30分)

標準画質(STD)のとき

録画モード	録画時間
[STD HQ]	16時間15分(14時間30分)

⚠ ご注意

- ()内は最低記録時間です。

🗨 ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(STD)で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

メモリーカード

ハイビジョン画質(HD)のとき

(単位：分)

	AVC HD 24M (FX)	AVC HD 17M (FH)	AVC HD 9M (HQ)	AVC HD 5M (LP)
1GB	5 (5)	6 (6)	10 (9)	20 (15)
2GB	10 (10)	10 (10)	25 (20)	45 (35)
4GB	20 (20)	25 (25)	55 (40)	90 (75)
8GB	40 (40)	55 (55)	110 (80)	190 (150)
16GB	85 (85)	110 (110)	220 (160)	380 (305)
32GB	175 (175)	225 (225)	455 (325)	770 (615)

標準画質(STD)のとき

(単位：分)

	STD 9M (HQ)
1GB	10 (10)
2GB	25 (25)
4GB	55 (50)
8GB	115 (100)
16GB	230 (205)
32GB	465 (415)

🔋 ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[RECORD MODE] (28ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

静止画の撮影可能枚数の目安

内蔵メモリー

最大9,999枚撮影できます。

メモリーカード

	7.1M [7.1M]
1GB	255
2GB	520
4GB	1000
8GB	2050
16GB	4100
32GB	8300

- 📷 (静止画)ランプが点灯しているときの画像サイズです。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください(117ページ)。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

🔔 ご注意

- ソニー独自のクリアビット画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

🗨️ ちょっと一言


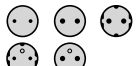

- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
 - ハイビジョン画質(HD) :
FX : 最大24Mbps 1,920画素×1,080画素/16 : 9
FH : 約17Mbps(平均) 1,920画素×1,080画素/16 : 9
HQ : 約9Mbps(平均) 1,440画素×1,080画素/16 : 9
LP : 約5Mbps(平均) 1,440画素×1,080画素/16 : 9
 - 標準画質(STD) :
HQ : 約9Mbps(平均) 720画素×480画素/16 : 9、4 : 3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
 - 静止画撮影モード :
3,072ドット×2,304ドット/4 : 3
3,072ドット×1,728ドット/16 : 9
1,600ドット×1,200ドット/4 : 3
640ドット×480ドット/4 : 3
 - デュアル記録 :
3,072ドット×1,728ドット/16 : 9
2,304ドット×1,728ドット/4 : 3
 - 動画から静止画作成 :
1,920ドット×1,080ドット/16 : 9
640ドット×360ドット/16 : 9
640ドット×480ドット/4 : 3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例 ↓	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

ハイビジョン画質(HD)で見るとは

ハイビジョン画質(HD)で記録した画像をハイビジョン画質(HD)で見るとは、ハイビジョン対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントビデオケーブル(別売)またはHDMIケーブル(別売)が必要です。

本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)」を参照してください。



標準画質(STD)で見るとは

標準画質(STD)で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC、下記参照)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

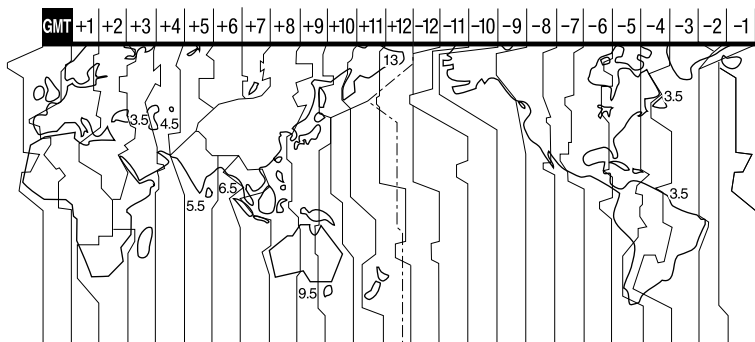
テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ポリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、**MENU** (メニュー) → [Show others] →  [GENERAL SET] の [CLOCK/  LANG] → [AREA SET] と [SUMMERTIME] を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます (91ページ)。

世界時刻表



使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式^{*1}や720p方式^{*2}のHD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cmDVDディスク、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、メモリーカードなどにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン映像信号を記録することができます。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD(ハイビジョン)記録ができます。また、AVCHD規格でのHD(ハイビジョン)記録に加え、従来からのMPEG-2規格でSTD(標準)記録することもできます。

映像^{*3}：MPEG-4 AVC/H.264 1920×

1080/60i、1440×1080/60i

音声：ドルビーデジタル2ch

記録メディア：内蔵メモリー、メモリーカード

^{*1} 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格

^{*2} 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格

^{*3} 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機で初期化をしてください(88ページ)。初期化するとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリスティック”について


“メモリスティック”の種類 記録・再生

“メモリスティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリスティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリスティック PRO-HG デュオ”	○*

- * 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリスティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)には

InfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
 - 高容量バッテリー「NP-F770/F970」(別売)を使う
- 液晶パネルの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-F770/F970」(別売)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましよ

う。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。

- 撮影には予定撮影時間の2倍～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。
- 本機では、999分以上のバッテリー残量表示は「999min」と表示されます。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color(エクスペイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ばかりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向けたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
 - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
 - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
 - スクールや夏の夕立の後
 - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について


- 液晶画面を強く押すと、画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見ることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

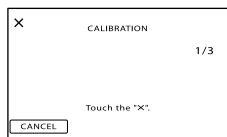
液晶画面のお手入れ

- 液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。
お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。
 - 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
 - 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブロワーなどであらかじめ払い落としてください。
 - ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
 - 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

タッチパネルの調節(CALIBRATION)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

- MENU** (メニュー) → [Show others] →  [GENERAL SET]の[OTHER SETTINGS] → [CALIBRATION]をタッチする。



- メモリーカードの角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[CANCEL]をタッチする。

④ ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つけるおそれがあります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う
 - ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短くと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして24時間以上放置する。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

動画と静止画の全削除や、[MEDIA FORMAT]を行っても、本機の内蔵メモリー内のデータは完全には消去されることがあります。本機を譲渡するときは、[EMPTY] (88ページ)を行って、内蔵メモリー内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されることがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄

するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式

NTSCカラー、EIA標準方式
HDTV 1080/60i方式

ビデオ記録方式

映像：HD画質：MPEG-4 AVC/H.264
AVCHD規格準拠
STD画質：MPEG-2 PS

音声記録方式

Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエイター搭載

静止画ファイルフォーマット

DCF Ver.2.0準拠
Exif Ver.2.2.1準拠
MPF Baseline準拠

記録メディア(動画・静止画)

内蔵メモリー：64GB
メモリースティック PRO デュオ
SDカード(Class 4 以上)

容量は、1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用いただけるユーザー容量は、約63.5GBです。

ファインダー

電子ファインダー：カラー
画面サイズ：0.5cm(0.2型、アスペクト比4:3)
総ドット数：201 600(300×224×3 [RGB])
ドット相当

撮像素子：4.5 mm(1/4型) CMOSセンサー

記録画素数：静止画時 最大710万画素相当*1
(3 072ピクセル×2 304ピクセル)(4 : 3時)
総画素数：約420万画素
動画時有効画素数(16 : 9)：約265万画素*2
静止画時有効画素数(16 : 9)：約265万画素
静止画時有効画素数(4 : 3)：約354万画素

ズームレンズ：Gレンズ

12倍(光学)*2、17倍*3、160倍(デジタル)
フィルター径：37 mm
F1.8 ~ 3.4
f=2.9 mm ~ 34.8 mm
35mmカメラ換算では
動画撮影時*2：
29.8 mm ~ 357.6 mm(16 : 9)
静止画撮影時：
27.4 mm ~ 328.8 mm(4 : 3)

色温度切り換え：[AUTO]、[ONE PUSH]、
[INDOOR] (3 200 K)、[OUTDOOR] (5 800 K)

最低被写体照度：

11 lx(ルクス)(お買い上げ時、[シャッタースピード] 1/60秒)
3 lx(ルクス)(LOW LUX時、[シャッタースピード] 1/30秒)

*1 ソニー独自のクリアピッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

*2 []STEADYSHOT補正が[STANDARD]、または[OFF]のとき

*3 []STEADYSHOT補正が[ACTIVE]のとき

入/出力端子

VIDEO OUT端子：

ピン端子 1Vp-p、75Ω

AUDIO OUT端子：

ピン端子 音声:327mV(47kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2kΩ以下

COMPONENT OUT端子：

Y:1Vp-p、75Ω PB/PR,CB/CR:+350mV、75Ω

リモート端子：

ステレオミニミニジャック(Φ2.5mm)

HDMI OUT端子：HDMIコネクタ

ヘッドフォン端子：

ステレオミニジャック(Φ3.5mm)

MIC入力端子：ステレオミニジャック(Φ3.5 mm)

USB端子：mini-AB(出力限定)

液晶画面

画面サイズ：6.7 cm(2.7型、アスペクト比16 : 9)

総ドット数：230 400ドット
横960×縦240

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 7.2V
DC端子入力 8.4V

消費電力：ファインダー、液晶画面使用時、明るさ標準：
HD：3.6W
STD：2.7W

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：

255 mm × 232 mm × 456 mm
(突起部、レンズフード、アイカップ含む)
(幅×高さ×奥行き)

255 mm × 234 mm × 464 mm
(突起部、バッテリーパック(NP-F570)、レンズ
フード、メモリーカード、アイカップ、マイク
(ECM-PS1)含む)(幅×高さ×奥行き)

本体質量：

約2.7kg(レンズフード、アイカップ含む)

撮影時総質量：

約2.9kg(バッテリーパック(NP-F570)、レンズ
フード、メモリーカード、アイカップ、マイク
(ECM-PS1)含む)

ACアダプター AC-L100C

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：約48 mm×29 mm×81 mm(最大突起
部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)

質量：約170 g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルを
ご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-F570

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 7.2 V

容量：

公称容量：15.8 Wh(2 200 mAh)

定格(最小)容量：15.0 Wh(2 100 mAh)

最大外形寸法：約38.4 mm×20.6 mm×70.8 mm

(幅×高さ×奥行き)

質量：約100g


使用温度：0℃～40℃

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため
予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づ
き製造されています。

商標について

- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社と
パナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、
"メモリースティック デュオ"、
MAGIC STICK DUO、"メモリースティック PRO
デュオ"、**MEMORY STICK PRO DUO**、"メモリース
ティック PRO-HG デュオ"、
MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、
MAGIC GATE、"MagicGate Memory
Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、
"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジック
ゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式
会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会
社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- プラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- DVD Directはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Dolby,ドルビー、およびダブルD記号は、ドル
ビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、およびHigh Definition
Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLC
の商標または登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista, DirectX
はMicrosoft Corporationの米国およびその他の
国における登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OSはApple Inc.の米国および
その他の国における登録商標です。
- Intel, Intel Core, Pentiumは、アメリカ合衆国お
よびその他の国におけるインテル コーポレー
ションまたはその子会社の商標または登録商標で
す。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コン
ピュータエンタテインメントの商品です。また「プ
レイステーション」は同社の登録商標または商標
です。
- Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは、
Adobe Systems Incorporatedの米国およびそ
の他の国における登録商標または商標です。
- SDXC, SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Multimedia Cardは、MultiMedia Card
Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商
標または商標です。なお、本文中では、™、®マ
ークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOとします)にエンコードすること。
 - (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。
- なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-SX20をお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>
 なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.adobe.com/>

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?」と思ったらの項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

修理に出される前のご注意(92ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

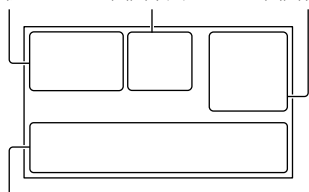
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

画面表示

画面左上 画面中央 画面右上



画面下

画面左上

表示	意味
	メニューボタン(72)
	セルフタイマー(84)
	マイク基準レベル低(83)
43	ワイド切換(84)
	バッテリー残量の目安
	記録フォルダ
	戻るボタン(72)

画面中央

表示	意味
[STBY]/[REC]	撮影状態(23)
	静止画サイズ(84)
	スライドショー設定(38)
	警告(98)
	再生表示(34)




画面右上

表示	意味
	記録画質(HD/STD)(27)
	と録画モード(FX/FH/HQ/LP)(28)
	記録/再生/編集メディア(19)
0:00:00	カウンター(時:分:秒)
[00min]	記録残量時間の目安
9999	およその静止画撮影可能枚数と記録メディア

表示	意味
	メモリーカードの再生フォルダ(34)
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数(34)

画面下

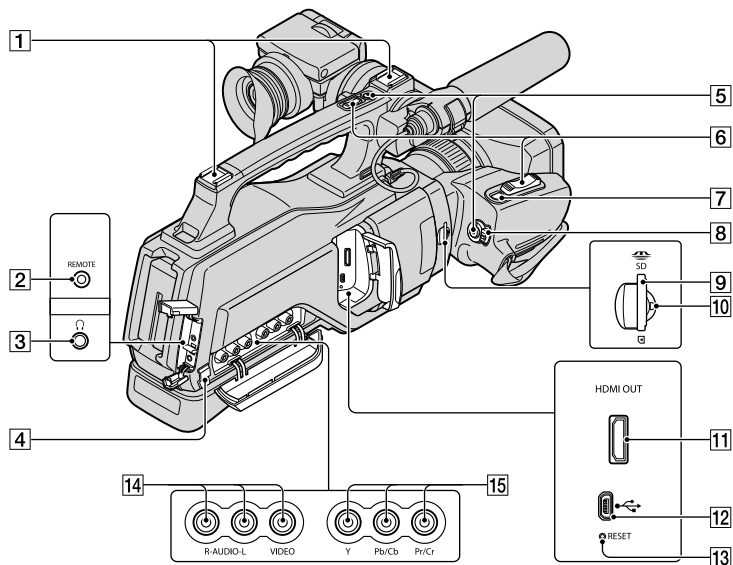
表示	意味
	顔検出切(82)
	スマイル検出設定(82)
	LOW LUX(82)
	手動フォーカス(79)
	シーンセレクション(77)
	ホワイトバランス(77)
AWB	ホワイトバランス(86)
	手ブレ補正切(81)
	SPOT測光フォーカス(78)/スポット測光(78)/カメラ明るさ(79)
AS	AEシフト(80)
WS	WBシフト(80)
AUTO	オート時(31)
MANUAL	画像明るさマニュアル設定時(31)
AE A	絞り優先時(31)
AE S	シャッタースピード優先時(31)
	テレマクロ(79)
(COLOR)	X.V.COLOR(83)
10000	シャッタースピード(30)
F1.8	絞り(30)
	アクセサリレンズ(81)
	おまかせオート(26)
	オプションボタン(74)
	画像再生ボタン(32)
	スライドショーボタン(38)

表示	意味
 101-0005	データファイル名(34)
	プロテクト(45)
	インデックス表示ボタン (34)

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。
- お使いの機種によって表示されないものがあります。

各部のなまえ

()内は参照ページです。



1 アクセサリーシュー

2 REMOTE端子

ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

3 Ω(ヘッドホン)端子

4 ケーブルホルダー

AV接続ケーブルなどを固定するときに使用します。

5 REC START/STOPボタン(23)

6 ズームレバー(26、38)

7 PHOTOボタン(25)

8 POWERスイッチ(22)

9 メモリーカードスロット(21)

10 アクセスランプ(21)

11 HDMI OUT端子(出力のみ対応)(39)

- モニターが対応している映像信号を読み取り、最適な出力形式を自動的に選択し、出力します。

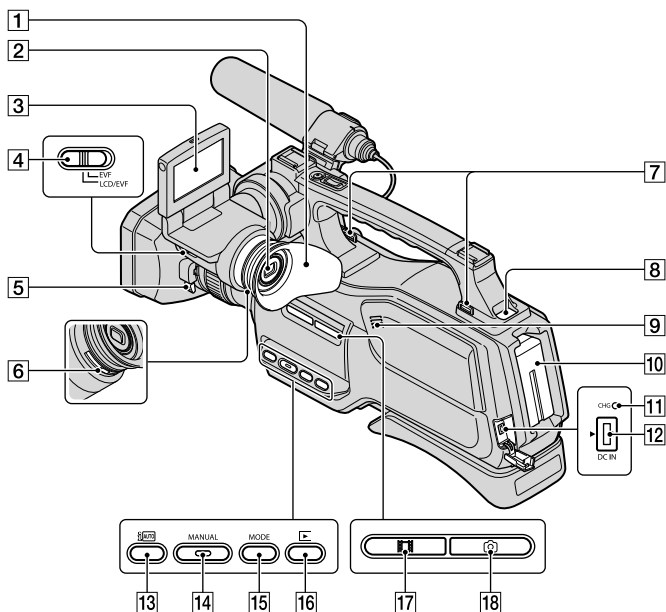
12 USB端子(mini-AB)(出力限定)(54)

13 RESET(リセット)ボタン

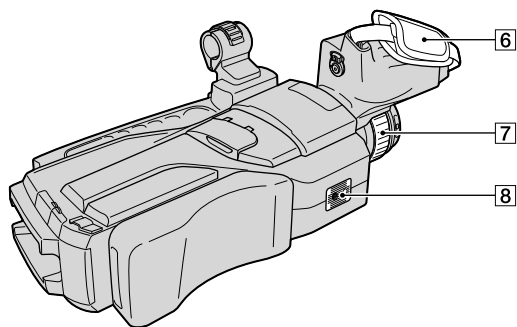
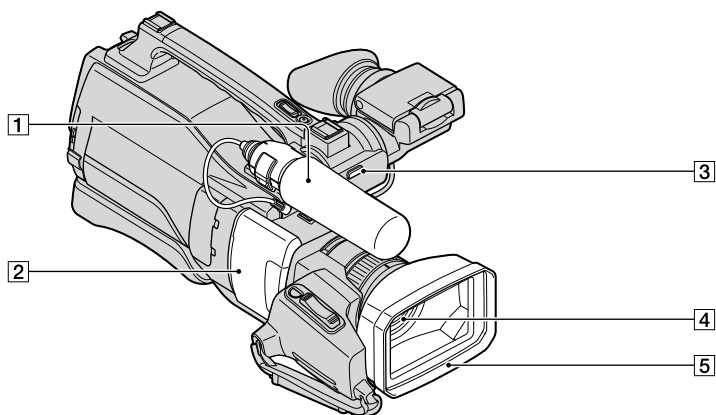
日時を含めすべての設定が解除されます。

14 AV OUT端子(39、71)

15 COMPONENT OUT端子(39)



- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 アイキャップ | 11 CHG(充電)ランプ(12) |
| 2 ファインダー(17) | 12 DC IN端子(12) |
| 3 液晶画面/タッチパネル(2, 17) | 13 i AUTO(おまかせオート)ボタン(26) |
| 4 LCD/EVF-EVF切り換えスイッチ(18) | 14 MANUALボタン(30) |
| 5 レンズフード取り外しレバー(10) | 15 MODEボタン(22) |
| 6 視度調整つまみ(17) | 16 C (画像再生)ボタン(32) |
| 7 ショルダーベルト取り付け部
ショルダーベルト(別売り)を取り付ける。 | 17 MOVIE (動画)ランプ(22) |
| 8 BATT(バッテリー) RELEASEボタン(13) | 18 STOP (静止画)ランプ(22) |
| 9 スピーカー | |
| 10 バッテリーパック(12) | |



- | | |
|---|---|
| <p>① マイク(9)</p> <p>② スライドカバー(21)</p> <p>③ 録画ランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 録画時に赤く点灯します。 • 記録メディアやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。 <p>④ レンズ(Gレンズ搭載)</p> <p>⑤ レンズフード</p> | <p>⑥ グリップベルト</p> <p>⑦ カメラコントロールリング(RING)(30)</p> <p>⑧ 三脚用ネジ穴</p> <p>三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴に取り付ける。</p> |
|---|---|

索引

ア

アフターサービス	116
インストール	54
お知らせメッセージの例	100
お手入れ	108
オプションメニュー	74
おまかせオート	26, 98
主な仕様	113
オリジナル	48

カ

海外	106
海外で充電	13, 106
画面表示	117
記録時間・枚数	103
結露	110
広角	26
故障かな?と思ったら	92
コピー	49, 63
コンセントの電源で使う	13

サ

再生ズーム	38
削除	44
撮影・再生可能時間	103
サムネイル	44
自己診断・警告表示	98
シナリオ再生	37
シナリオ消去	37
充電	12
使用上のご注意	2, 108
ズーム	26, 38
スマイルシャッター	29
スライドショー	38
静止画	25
静止画コピー	49
静止画メディア設定	19
外付けメディア	64
ソフトウェア	54

タ

ダビング	48
ディスクレコーダー	70
ディスクをコピーする	63

ディスクを作る	57, 66
デュアル記録	30
テレビ	39
テレビ方式	106
電源	15
動画	23
動画から静止画を作る	47, 61
動画ダビング	48
動画メディア設定	19
取り扱い上のご注意	110
撮る	23, 25

ハ

ハイライト再生	36
パソコン	53
パソコン環境	53
バッテリー	12
ビジュアルインデックス	32
標準画質(STD)のディスクを作る	63
フィルムロールインデックス	35
フェイスインデックス	36
付属品	2
ブルーレイディスク	62
プレイリスト	50
プレイリスト編集	50
プロテクト	45
分割	46
編集	44, 60
望遠	26
保証書	116

マ

マイク	9
満充電	12
メニュー	72, 75
メモリーカード	20, 108
"メモリースティック"	108
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	20, 109
"メモリースティック PRO デュオ"	20, 109

ラ

録画モード	28
-------	----

ワ

ワンタッチディスク	59
-----------	----

A

A.SHUT OFF	91
A/V接続ケーブル	39, 71
AE SHIFT	80
AREA SET	91
AUDIO REC SET	83
AUTO BACK LIGHT	83
AVCHD	57
AVCHD規格	108
AVCHDディスクを再生する	62
AVCHDのディスクを作る	61

B

BATTERY INFO	87
BEACH	77
BEEP	89

C

CALIBRATION	111
CAMERA DATA	86
CLOCK/LANG	91
CLOCK SET	15
COMPONENT	90
CONVERSION LENS	81

D

DATA CODE	16, 85
DATE/TIME	16, 86
DATE INDEX	35
DIGITAL ZOOM	83
DISPLAY SET	89
DISP OUTPUT	91
DVD Direct Express	67
DVDライター	66, 67, 69

E

EXPOSURE	79
----------	----

F	FACE DETECTION.....82, 98	OTHER REC SET.....83	V	VBR.....103
	FH.....28	OTHERS.....87		VISUAL INDEX.....32
	FILE NO.....85	OUTDOOR.....77		VOLUME.....34, 89
	FIREWORKS.....77	OUTPUT SETTINGS.....90	W	
	FOCUS.....79	P		WB SHIFT.....80
	FX.....28	PHOTO SETTINGS.....84		WHITE BAL.....77
G		PLAYBACK.....85		WIDE SELECT.....84
GENERAL SET.....89		PMB(Picture Motion Browser).....53, 56		Windows.....53
GUIDEFAME.....81		PMBヘルプ.....56	X	
H		PORTRAIT.....77	X.V.COLOR.....83, 110	
HD/STD設定.....27		PRIORITY SETTING.....82, 98	数字	
HDMI RESOLUTION.....90	R		1080i/480i.....90	
HQ.....28	REC LAMP.....91		16:9.....90	
I	REPAIR IMG.DB F.....96, 99		4:3.....90	
IMAGE SIZE.....84	RING SETTING.....30		480i.....90	
INDOOR.....78	S			
InfoLITHIUMバッテリー...109	SCENE SELECTION.....77, 98			
L	SELF-TIMER.....84			
LANDSCAPE.....77	SHOOTING SET.....81			
LCD BL LEVEL.....89	SLIDE SHOW SET.....38			
LCD BRIGHT.....89	SMILE DETECTION.....82, 98			
LCD COLOR.....89	SMILE SENSITIVITY.....83, 98			
LOW LUX.....82	SMTL SLW REC.....80			
M	SNOW.....77			
Macintosh.....54	SOUND/DISP SET.....89			
MANAGE MEDIA.....19, 88	SPOT FOCUS.....79			
MANUAL SETTINGS.....77	SPOTLIGHT.....77			
MEDIA FORMAT.....88	SPOT METER.....78			
MEDIA INFO.....88	SPOT MTR/FCS.....78			
MICREF LEVEL.....83	STEADYSHOT.....81, 85			
MPEG-4 AVC/H.264.....108	SUMMERTIME.....91			
MY MENU.....73	SUNRISE&SUNSET.....77			
MY MENU SETTING.....73	T			
N	TELE MACRO.....79			
NTSC.....106	TV TYPE.....90			
O	TWILIGHT.....77			
ONE PUSH.....78	U			
	USBケーブル.....70			
	USB接続.....67, 70			

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan



4263129020